

東洋大学

2027年度

編入学・転入学 社会人編入学・社会人転入学 入学試験要項

インターネット登録による出願となります。

<https://www.toyo.ac.jp/nyushi/>

編入学と転入学について

【編入学】大学・短期大学または高等専門学校の卒業者（見込者を含む）、
あるいは専修学校専門課程の修了者（見込者を含む）を対象とした試験

【転入学】＜2年次転入＞他大学に1年以上在学し、32単位以上修得した者を対象とした試験
＜3年次転入＞他大学に2年以上在学し、62単位以上修得した者を対象とした試験

この「入学試験要項」には、出願から入学
手続までのすべての事項が記載してあります
ので、よく読んで手続に間違いのないよう十
分に注意してください。

なお、この「入学試験要項」の内容に変更、
訂正等が生じた場合および、大規模な自然災
害等が発生したことにより特別措置を講じる
場合は、その内容を本学入試情報サイトに随
時掲載します。



東洋大学

目次

概要

感染症等の影響による2027年度入学試験における対応について	1
2027年度入学生 入学時における学部・学科構成、修学キャンパス(編入学・転入学生用) ...	3
募集学部学科(専攻)・募集人員一覧	4
出願資格	6
試験日程	9
試験科目[配点]・試験会場	10
試験時間割	12

出願

出願の際の注意事項	14
出願の流れ	15
出願書類	16
入学検定料	19
受験上の配慮	20
受験票	20

受験

試験当日の注意事項	21
試験時間中の注意事項	22

合格発表・入学手続

合格発表	23
入学手続	24
編入学・転入学 社会人編入学・転入学試験に関する特記事項	24

その他

納付金	25
入学手続後の入学辞退と納付金の返還	25
在留資格(日本国以外の国籍を有する者)	26
高等教育の修学支援新制度について	27
教育ローン等について	29
キャンパス案内図	30
問い合わせ先	33
既修得単位の取扱い	34
既修得単位の取扱いに関する問い合わせ先	50

(参考資料) 2026年度 編入学・転入学/社会人編入学・社会人転入学試験 結果表

【個人情報の取り扱いについて】

出願に際して提出された住所、氏名、その他の個人情報は、①出願受付、②入学試験実施、③合格発表、④入学手続、⑤入学前の事前教育等と、これらに付随する事項を目的としてのみ使用します。

なお、これらの業務の一部を、東洋大学が指定した業者に委託します。

業務委託にあたり、同業者に対して、提供して頂いた個人情報を提供することがあります。

試験後、試験会場で感染症等の存在が判明した場合は、保健所等の行政機関へ個人情報を提供することがあります。



感染症等の影響による2027年度入学試験 における対応について

- 感染症等の感染拡大や緊急事態宣言の発令等により、やむを得ず、試験日や選抜方法等、本書に記載されている内容を変更する場合は、決定次第、東洋大学入試情報サイト (<https://www.toyo.ac.jp/nyushi/>) 等にてお知らせします。

2027年度入学生 入学時における学部・学科構成、修学キャンパス

学部・学科（専攻）			修学キャンパス
文学部 哲学科 東洋思想文化学科 日本文学文化学科 英米文学科 史学科 教育学科（人間発達専攻） 教育学科（初等教育専攻） 国際文化コミュニケーション学科 東洋思想文化学科【イブニングコース】 日本文学文化学科【イブニングコース】 教育学科【イブニングコース】	経済学部 経済学科 国際経済学科 総合政策学科 経済学科【イブニングコース】 経営学部 経営学科 マーケティング学科 会計ファイナンス学科 経営学科【イブニングコース】 法学部 法律学科 企業法学科 法律学科【イブニングコース】	社会学部 社会学科 国際社会学科 メディアコミュニケーション学科 社会心理学科 社会学科【イブニングコース】 国際学部 グローバル・イノベーション学科 国際地域学科（国際地域専攻） 国際地域学科（地域総合専攻）【イブニングコース】 国際観光学部 国際観光学科	白山キャンパス
情報連携学部 情報連携学科	福祉社会デザイン学部 社会福祉学科 子ども支援学科 人間環境デザイン学科	健康スポーツ科学部 健康スポーツ科学科 栄養科学科	赤羽台キャンパス
理工学部 機械工学科 電気電子情報工学科 応用化学科 都市環境デザイン学科 建築学科	総合情報学部 総合情報学科（メディア情報専攻） 総合情報学科（心理・スポーツ情報専攻） 総合情報学科（システム情報専攻）	環境イノベーション学部 環境イノベーション学科	川越キャンパス
生命科学部 生命科学科 生体医工学科 生物資源学科	食環境科学部 食環境科学科 フードデータサイエンス学科 健康栄養学科		朝霞キャンパス

募集学部学科(専攻)・募集人員一覧

編入学・転入学試験

第1部(昼)

学 部	学科(専攻)	編入学		転入学	
		3年次	2年次	3年次	2年次
文	哲	若干名	—	若干名	若干名
	東 洋 思 想 文 化	若干名	—	若干名	若干名
	日 本 文 学 文 化	若干名	—	若干名	若干名
	英 米 文	若干名	—	若干名	若干名
	史	若干名	—	若干名	若干名
	教 育 (人 間 発 達)	若干名	—	—	若干名
	国際文化コミュニケーション	若干名	—	若干名	若干名
経 済	経 済	若干名	—	若干名	若干名
	国 際 経 済	若干名	—	若干名	若干名
	総 合 政 策	若干名	—	若干名	若干名
法	法 律	若干名	—	若干名	若干名
	企 業 法	若干名	—	若干名	若干名
社 会	社 会	若干名	—	若干名	若干名
	メディアコミュニケーション	若干名	—	若干名	若干名
	社 会 心 理	若干名	—	若干名	若干名
国 際	グローバル・イノベーション	—	若干名	—	若干名
情 報 連 携	情 報 連 携	若干名	若干名	若干名	若干名
理 工	機 械 工	—	若干名	—	若干名
	電 気 電 子 情 報 工	—	若干名	—	若干名
	応 用 化	—	若干名	—	若干名
	都 市 環 境 デ ザ イ ン	—	若干名	—	若干名
	建 築	—	若干名	—	若干名
総 合 情 報	総合情報(メディア情報)	—	若干名	—	若干名
	総合情報(心理・スポーツ情報)	—	若干名	—	若干名
	総合情報(システム情報)	—	若干名	—	若干名
生 命 科	生 命 科	—	若干名	—	若干名
	生 物 資 源	—	若干名	—	若干名
食 環 境 科	食 環 境 科	—	若干名	—	若干名
	フーズデータサイエンス	—	若干名	—	若干名

第2部・イブニングコース(夜)

学 部	学科(専攻)	編入学		転入学	
		3年次	2年次	3年次	2年次
文	東 洋 思 想 文 化	若干名	—	若干名	若干名
	日 本 文 学 文 化	若干名	—	若干名	若干名
	教 育	若干名	—	若干名	若干名
経 済	経 済	若干名	—	若干名	若干名
法	法 律	若干名	—	若干名	若干名
社 会	社 会	若干名	—	若干名	若干名

※「第1部(昼)」とは、主として昼間に授業を行う学部・学科(専攻)を表します。

※「第2部・イブニングコース(夜)」とは、主として夜間に授業を行う学部・学科(専攻)を表します。

社会人編入学・転入学試験

第1部(昼)

学 部	学科(専攻)	編入学		転入学	
		3年次	2年次	3年次	2年次
文	東 洋 思 想 文 化	若干名	—	若干名	—
情 報 連 携	情 報 連 携	若干名	—	若干名	—
理 工	建 築	—	若干名	—	若干名
生 命 科	生 命 科	—	若干名	—	若干名

第2部・イブニングコース(夜)

学 部	学科(専攻)	編入学		転入学	
		3年次	2年次	3年次	2年次
文	東 洋 思 想 文 化	若干名	—	若干名	—
	日 本 文 学 文 化	若干名	—	—	—
	教 育	若干名	—	—	—
経 済	経 済	若干名	—	若干名	—
経 営	経 営	若干名	—	若干名	若干名
法	法 律	若干名	—	若干名	若干名
社 会	社 会	若干名	—	—	—
国 際	国 際 地 域 (地 域 総 合)	若干名	—	若干名	若干名

※「第1部(昼)」とは、主として昼間に授業を行う学部・学科(専攻)を表します。

※「第2部・イブニングコース(夜)」とは、主として夜間に授業を行う学部・学科(専攻)を表します。

出願資格

(注) 出願資格または大学入学資格を取得見込で受験し、入学時までには要件を満たせなかった場合または、合格発表後等に出願資格および出願資格審査に関わる書類に虚偽の記載があることが判明した場合、入学することはできません。

編入学・転入学試験

年次	学部 (第2部含む)	出願資格①	出願資格②
3 年次 編入	文 経 済 法	2027年3月31日までに、以下の1～3のいずれかに該当する者。 1. 短期大学を卒業した者(含見込者)。 2. 四年制大学を卒業した者(含見込者)。 3. 高等専門学校を卒業した者(含見込者)。	<左記の出願資格に加え、以下の外部試験スコアを満たす者> TOEIC® L&R(IP: Institutional Program 除く) 450点以上 ※2024年11月1日以降に受験したスコアを有効とします。
	社会	2027年3月31日までに、以下の1～4のいずれかに該当する者。 1. 短期大学を卒業した者(含見込者)。 2. 四年制大学を卒業した者(含見込者)。 3. 高等専門学校を卒業した者(含見込者)。 4. 専修学校専門課程の課程修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上で、修業年数2年以上を修了し、看護師・作業療法士・理学療法士・介護福祉士・社会福祉士・保育士のいずれかの資格あるいは受験資格を有する者(ただし、学校教育法第132条に規定する大学入学資格を有する者に限る)。 ※「専門士」の称号が授与されていない者も含む。	
	情報連携	2027年3月31日までに、以下の1～3のいずれかに該当する者。 1. 短期大学を卒業した者(含見込者)。 2. 四年制大学を卒業した者(含見込者)。 3. 高等専門学校を卒業した者(含見込者)。 ※情報連携学部の出願を希望する場合は、必ず出願前に赤羽台事務課に相談してください。(注)	
3 年次 転入	文 経 済 法 社会	2027年3月31日までに、他大学(短期大学を除く)に2年以上在学し62単位以上修得した者(含見込者)。	<左記の出願資格に加え、以下の外部試験スコアを満たす者> TOEIC® L&R(IP: Institutional Program 除く) 450点以上 ※2024年11月1日以降に受験したスコアを有効とします。
	情報連携	2027年3月31日までに、他大学(短期大学を除く)に2年以上在学し62単位以上修得した者(含見込者)。 ※情報連携学部の出願を希望する場合は、必ず出願前に赤羽台事務課に相談してください。(注)	
2 年次 編入	理工 総合情報 生命科 食環境科	2027年3月31日までに、以下の1～3のいずれかに該当する者。 1. 短期大学を卒業した者(含見込者)。 2. 四年制大学を卒業した者(含見込者)。 3. 高等専門学校を卒業した者(含見込者)。	<左記の出願資格に加え、以下の外部試験スコアを満たす者> TOEIC® L&R(IP: Institutional Program 除く) 450点以上 ※2024年11月1日以降に受験したスコアを有効とします。
	国際		<左記の出願資格に加え、2024年11月1日以降に受験した、以下の外部試験スコア※のいずれかを満たす者> ①TOEFL iBT®(Home Edition 含む) 旧スコア形式にて79点以上(2026年1月20日以前受験者)または、バンドスコア総合4.5点以上(2026年1月21日以降受験者) ※TOEFL ITP®、TOEFL® Essentials™は認めません。 ※Test Dateスコアのみを利用します(My Best® スコアは利用不可)。 ②IELTS™ 6.0 以上 ※IELTS™ General Training Moduleは認めません。 ※One Skill Retakeによるスコアは利用不可。
	情報連携	2027年3月31日までに、以下の1～3のいずれかに該当する者。 1. 短期大学を卒業した者(含見込者)。 2. 四年制大学を卒業した者(含見込者)。 3. 高等専門学校を卒業した者(含見込者)。 ※情報連携学部の出願を希望する場合は、必ず出願前に赤羽台事務課に相談してください。(注)	

年次	学部 (第2部含む)	出願資格①	出願資格②
2 年次 転入	文 経 済 法 社 会 理 工 総 合 情 報 生 命 科 食 環 境 科	2027年3月31日までに、他大学(短期大学を除く)に1年以上在学し32単位以上修得した者(含見込者)。	<左記の出願資格に加え、以下の外部試験スコアを満たす者> TOEIC® L&R (IP : Institutional Program 除く) 450点以上 ※2024年11月1日以降に受験したスコアを有効とします。
	国際		<左記の出願資格に加え、2024年11月1日以降に受験した、以下の外部試験スコア※のいずれかを満たす者> ①TOEFL iBT®(Home Edition 含む) 旧スコア形式にて79点以上(2026年1月20日以前受験者)または、バンドスコア総合4.5点以上(2026年1月21日以降受験者) ※TOEFL ITP®, TOEFL® Essentials™は認めません。 ※Test Dateスコアのみを利用します(My Best® スコアは利用不可)。 ②IELTS™ 6.0 以上 ※IELTS™ General Training Moduleは認めません。 ※One Skill Retakeによるスコアは利用不可。
	情報連携	2027年3月31日までに、他大学(短期大学を除く)に1年以上在学し32単位以上修得した者(含見込者)。 ※情報連携学部の出願を希望する場合は、<u>必ず出願前に赤羽台事務課に相談してください。</u>(注)	

- ※ 履修要覧、講義要項など(修得した科目および現在履修中の科目について、講義内容を記載したもの。コピーでも可)の提出を求める場合があるため、事前に準備してください。
- ※ 日本国以外の国籍を有する志願者が第2部・イブニングコース(夜)への入学した場合、在留資格「留学」を取得することはできません。
- ※ 外国の大学からの編入学については、外国において学校教育における14年以上の課程を修了して各学科(専攻)の資格に該当する者が対象となります。
- ※ 外国の大学から3年次転入学については、外国の大学(短期大学を除く)に2年以上在学した者(含見込者)で、各学科(専攻)の資格に該当する者が対象となります。
- ※ 外国の大学から2年次転入学については、外国の大学(短期大学を除く)に1年以上在学した者(含見込者)で、各学科(専攻)の資格に該当する者が対象となります。

(注) 下記 web サイトより、詳細を確認のうえ、事前相談を申請してください。

<https://www.iniad.org/hentennyu/>

社会人編入学・転入学試験

年次	学部 (文・情報連携・理工・生命科学部以外は第2部のみ)	出願資格①	出願資格②
3 年次 編入	文 経 営 法 国 際	2024年3月31日までに、以下の1～3のいずれかに該当する者。 1. 短期大学を卒業した者。 2. 四年制大学を卒業した者。 3. 高等専門学校を卒業した者。	
	社会	2024年3月31日までに、以下の1～4のいずれかに該当する者。 1. 短期大学を卒業した者。 2. 四年制大学を卒業した者。 3. 高等専門学校を卒業した者。 4. 専修学校専門課程の課程修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上で、修業年数2年以上を修了し、看護師・作業療法士・理学療法士・介護福祉士・社会福祉士・保育士のいずれかの資格あるいは受験資格を有する者。(ただし、学校教育法第132条に規定する大学入学資格を有する者に限る)。 ※「専門士」の称号が授与されていない者も含む。	
	情報連携	情報連携学に関連する実務経験を有し、2024年3月31日までに、以下の1～3のいずれかに該当する者。 1. 短期大学を卒業した者。 2. 四年制大学を卒業した者。 3. 高等専門学校を卒業した者。 ※「情報連携学に関連する実務経験」については、必ず出願前に赤羽台事務課に相談してください。(注)	
2 年次 編入	理 工 生 命 科	2024年3月31日までに、以下の1～3のいずれかに該当する者。 1. 短期大学を卒業した者。 2. 四年制大学を卒業した者。 3. 高等専門学校を卒業した者。	
3 年次 転入	文 経 営 法 国 際	2024年3月31日までに、他大学(短期大学を除く)に2年以上在学し62単位以上修得した者。	
	情報連携	情報連携学に関連する実務経験を有し、2024年3月31日までに、他大学(短期大学を除く)に2年以上在学し62単位以上修得した者。 ※「情報連携学に関連する実務経験」については、必ず出願前に赤羽台事務課に相談してください。(注)	
2 年次 転入	経 営 法 国 際 理 工 生 命 科	2024年3月31日までに、他大学(短期大学を除く)に1年以上在学し32単位以上修得した者。	

- ※ 履修要覧、講義要項など(修得した科目および現在履修中の科目について、講義内容を記載したもの。コピーでも可)の提出を求める場合があるため、事前に準備してください。
- ※ 日本国以外の国籍を有する志願者が第2部・イブニングコース(夜)への入学した場合、在留資格「留学」を取得することはできません。
- ※ 外国の大学からの編入学については、外国において学校教育における14年以上の課程を修了して各学科(専攻)の資格に該当する者が対象となります。
- ※ 外国の大学から3年次転入学については、外国の大学(短期大学を除く)に2年以上在学した者(含見込者)で、各学科(専攻)の資格に該当する者が対象となります。
- ※ 外国の大学から2年次転入学については、外国の大学(短期大学を除く)に1年以上在学した者(含見込者)で、各学科(専攻)の資格に該当する者が対象となります。

(注) 下記 web サイトより、詳細を確認のうえ、事前相談を申請してください。

<https://www.iniad.org/hentennyu/>

試験日程

編入学・転入学試験

社会人編入学・転入学試験

出願期間	受験票印刷可能予定日	試験日	合格発表日	入学手續締切日
10月 2日(金)～10月 5日(月)	11月 2日(月)～	11月22日(日)	12月 1日(火)	12月11日(金) 〔第2次手續締切日〕 3月 5日(金)

※ 出願期間内に、出願書類の郵送(出願期間内消印有効)および入学検定料の支払いが必要です。

※ 受験票印刷可能予定日について、受験票は上記の受験票印刷可能予定日後に受験生各自が印刷してください。詳細は「受験票」のページを確認してください。

試験科目[配点]・試験会場

- 下表の科目欄に配点の記載がある科目が、その学科(専攻)での試験科目です。
- 入学試験は東洋大学の各キャンパスにて実施します。各キャンパスの所在地は「キャンパス案内図」のページを参照してください。
学科(専攻)によって試験会場が異なりますので、試験当日は試験会場を間違えないよう、十分に注意してください。
なお、試験会場を間違えた場合、受験することはできません。

編入学・転入学試験 第1部(昼)

学部	学科(専攻)	試験科目[配点]				試験会場 (本学キャンパス)
		書類選考	面接	小論文	筆記	
文	哲	20	80		100 ^(注1)	白山キャンパス
	東洋思想文化	20	40	40		
	日本文学文化	20	40	40		
	英米文	50	50			
	史	100	100		100 ^(注2)	
	教育(人間発達)	20	40	40		
	国際文化コミュニケーション	20	40	40		
経 済	経 済		100		100 (経済学に関する筆記試験)	
	国 際 経 済		100		100 (経済学に関する筆記試験)	
	総 合 政 策		100		100 (経済学に関する筆記試験)	
法	法 律	100	100	100		
	企 業 法	100	100	100		
社 会	社 会		100	100		
	メディアコミュニケーション		100	100		
	社 会 心 理		100	100		
国 際	グローバル・イノベーション	50	100 ^(注3)	100 ^(注4)		
情報連携	情 報 連 携	100	100		情報100・数学100	赤羽台キャンパス
理 工	機 械 工	50	100	100	100 ^(注5) (総合問題)	川越キャンパス
	電 気 電 子 情 報 工	50	100	100	100 ^(注5) (総合問題)	
	応 用 化	50	100	100	100 ^(注5) (総合問題)	
	都 市 環 境 デ ザ イ ン	50	100	100	100 ^(注5) (総合問題)	
	建 築	50	100	100	100 ^(注5) (総合問題)	
総合情報	総合情報(メディア情報)	50	100	100		
	総合情報(心理・スポーツ情報)	50	100	100		
	総合情報(システム情報)	50	100	100		
生 命 科	生 命 科	100	100 ^(注6)	100		朝霞キャンパス
	生 物 資 源	100	100 ^(注6)	100		
食環境科	食 環 境 科	100	100	100		
	フードデータサイエンス	100	100	100		

編入学・転入学試験 第2部・イブニングコース(夜)

学部	学科	試験科目[配点]					試験会場 (本学キャンパス)
		書類選考	面接	小論文	論文	筆記	
文	東洋思想文化	20	40	40			白山キャンパス
	日本文学文化	20	40	40			
	教 育	20	40	40			
経 済	経 済		100			100 (経済学に関する筆記試験)	
法	法 律	100	100	100			
社 会	社 会		100	100			

(注1) ドイツ語・フランス語から1科目選択(インターネット出願時に選択します。出願後の科目変更は出来ません。)

(注2) 日本史・東洋史・西洋史から1科目選択(インターネット出願時に選択します。出願後の科目変更は出来ません。)

(注3) 英語面接となります。

(注4) 英語小論文となります。

(注5) 総合問題は、数学・理科(物理または化学から選択)を出題します。理科の科目についてはインターネット出願時に選択します。選択後の科目変更は出来ません。

(注6) 面接には口頭試問を含みます。口頭試問は生物・化学に関する内容です。

社会人編入学・社会人転入学試験

第1部(昼)

学部	学科	試験科目〔配点〕				試験会場 (本学キャンパス)
		書類選考	面接	小論文	筆記	
文	東洋思想	20	40	40		白山キャンパス
情報連携	情報連携	100	100	100		赤羽台キャンパス
理工	建築	50	100	100	100 ^(注1) (総合問題)	川越キャンパス
生命科	生命科	100	100 ^(注2)	100		朝霞キャンパス

第2部・イブニングコース(夜)

学部	学科	試験科目〔配点〕			試験会場 (本学キャンパス)
		書類選考	面接	小論文	
文	東洋思想文化	20	40	40	白山キャンパス
	日本文学文化	20	40	40	
	教 育	10	30	60	
経 済	経 済		100	100	
経 営	経 営	100	100		
法	法 律	100	100	100	
社 会	社 会		100	100	
国 際	国際地域(地域総合)	20	40	40	

(注1) 総合問題は、数学・理科(物理または化学から選択)を出題します。理科の科目についてはインターネット出願時に選択します。選択後の科目変更はできません。

(注2) 面接には口頭試問を含みます。口頭試問は生物・化学に関する内容です。

試験時間割

編入学・転入学試験

第1部(昼)

文学部(英米文学科を除く)・経済学部・法学部・社会学部・国際学部・総合情報学部・生命科学部・食環境科学部

Ⅰ集合時間	9:00
Ⅰ説明	9:00～ 9:20
Ⅰ小論文・論文・筆記	9:20～10:20
Ⅰ面接	10:40～

文学部(英米文学科)

Ⅰ集合時間	9:00
Ⅰ説明	9:00～ 9:20
Ⅰ面接	9:20～

情報連携学部

Ⅰ集合時間	9:00
Ⅰ説明	9:00～ 9:20
Ⅰ情報	9:20～10:20
Ⅰ数学	10:35～11:35
Ⅰ面接	11:50～

理工学部

Ⅰ集合時間	9:00
Ⅰ説明	9:00～ 9:20
Ⅰ総合問題	9:20～10:20
Ⅰ小論文	10:40～11:40
Ⅰ面接	12:00～

第2部・イブニングコース(夜)

文学部・経済学部・法学部・社会学部

Ⅰ集合時間	9:00
Ⅰ説明	9:00～ 9:20
Ⅰ小論文・筆記	9:20～10:20
Ⅰ面接	10:40～

※試験終了時間は、面接の順番により異なります。

社会人編入学・転入学試験

第1部(昼)

文学部・生命科学部

Ⅰ集合時間	9:00
Ⅰ説明	9:00～ 9:20
Ⅰ小論文	9:20～10:20
Ⅰ面接	10:40～

情報連携学部

Ⅰ集合時間	9:00
Ⅰ説明	9:00～ 9:20
Ⅰ小論文	9:20～10:20
Ⅰ面接	10:35～

理工学部

Ⅰ集合時間	9:00
Ⅰ説明	9:00～ 9:20
Ⅰ総合問題	9:20～10:20
Ⅰ小論文	10:40～11:40
Ⅰ面接	12:00～

第2部・イブニングコース(夜)

文学部・経済学部・法学部・社会学部・国際学部

Ⅰ集合時間	9:00
Ⅰ説明	9:00～ 9:20
Ⅰ小論文	9:20～10:20
Ⅰ面接	10:40～

経営学部

Ⅰ集合時間	9:00
Ⅰ説明	9:00～ 9:20
Ⅰ面接	9:20～

※試験終了時間は、面接の順番により異なります。

出願の際の注意事項

- (1) 提出された出願書類について確認事項がある場合、大学から志願者に対して、登録された電話番号宛に、またはインターネット志願者専用ページの「マイページ」より確認の連絡をします。そのため、インターネット出願の際に登録する電話番号およびメールアドレスは、大学からの連絡を受取することが可能なものを登録してください(携帯電話の番号可)。
- (2) 出願後の志望学部・学科(専攻)、第1部(昼)、第2部・イブニングコース(夜)、および入試方式の変更はできません。
- (3) 出願書類は提出後の変更は認めません。
- (4) 出願書類に不備がある場合は受験できません。
- (5) 出願書類が郵送されても入学検定料の納入がない場合、または入学検定料が納入されても出願書類の郵送消印日が出願期間を過ぎている場合は受験できません。
- (6) 出願書類の提出は原則日本国内からの郵送に限り受け付けます。国際郵便等による海外からの郵送を行う場合は、事前に東洋大学入試部まで必ずお問い合わせください。
- (7) 理由の如何を問わず、一度提出された書類の返却は行いません。
- (8) 出願書類の記載事項に虚偽等があった場合は受験できません。
- (9) 出願後に電話番号等の個人情報を変更する場合は、インターネット志願者専用ページ「マイページ」の「個人情報変更依頼」より変更の手続きを行ってください。
- (10) 入学検定料の納入の確認および出願書類の到着後、出願資格の審査を行います。審査の結果、出願資格が認められない場合は受験できません。その際は、出願時に登録された電話番号宛に、または「マイページ」にその旨を連絡します。
- (11) 合格発表後に虚偽等が発覚した場合は、入学することはできません。

出願の流れ

出願にあたり、以下のものを事前に準備してください。

- 「調査書」等の出願に必要な書類
※ 「出願書類」のページを確認し、不備がないか十分に確認してください。
- インターネットに接続できるパソコンまたはスマートフォン
- インターネット登録に必要なメールアドレス
- 「志願票」等を印刷するための環境（プリンタ等）
- 角2封筒（市販のもの）

出願を完了するために、

1 インターネット出願登録、**2** 入学検定料の支払い、**3** 出願書類の郵送が必要です

1 インターネット出願登録

(1) 「TOYO Web Style メンバー」登録をする

本学入試情報サイトより、「TOYO Web Style メンバー」に登録をしてください。（メールアドレスが必要です。迷惑メール設定などをしている場合は、「@nyushi.toyo.ac.jp」および「@toyo.jp」からのメールが受信できるように設定してください。）

(2) 「マイページ」にログインし、インターネット出願登録をする

(1)の完了後、本学入試情報サイトからインターネット志願者専用ページ「マイページ」にログインすることができます。「マイページ」から出願登録画面にアクセスし、画面の指示に従って出願登録を行ってください。（出願登録は出願期間初日の3日前から可能です）

(3) 「志願票」・「宛名ラベル」を印刷し、入学検定料の支払情報の確認をする

出願登録完了後、「志願票」・「宛名ラベル」をA4用紙に印刷してください。また、画面の指示に従って入学検定料の支払方法を確認してください。（宛名ラベルとは出願書類提出先が印字された用紙です。）

※ **1**・**(2)**のインターネット出願登録は出願期間最終日の23:59まで可能ですが、**1**の後、下記の**2**および**3**の手続が必要となりますので、時間に余裕をもって手続を行ってください。

2 入学検定料の支払い

1・**(3)**で確認をした支払方法に従って、入学検定料を納入する

入学検定料の支払い前にも「志願票」「宛名ラベル」等の印刷は可能です。郵送前に支払いが完了しているか、また志願票右上に記載の「整理番号」と支払いを行った整理番号が一致しているか、必ず確認してください。

3 出願書類の郵送

角2封筒に**1**・**(3)**で印刷した「宛名ラベル」を貼付し、出願書類を封入のうえ、郵便局の窓口から「簡易書留・速達」で郵送する※

出願期間内消印有効です。志願票は折り曲げずに封入してください。なお、出願書類に不備がある場合、出願を受理することはできません。

※ 本学が出願書類を受領し、内容を確認したうえで不備等がなければ、出願受付が完了します。出願受付の状況は「マイページ」で確認することができます。出願書類の確認は順次行いますので、出願受付完了となるまでに時間を要することがあります。

出願書類

1. 各種証明書は日本語、英語または中国語で記載されたものを提出してください。それ以外の言語で書かれている場合は、必ず公的機関により証明された翻訳を添付し、証明書の原本（コピー可）とともに提出してください（志願者本人の翻訳は認めません。また、民間会社による翻訳も認めません）。なお、翻訳が複数枚におよぶ場合は、原則として全ページに確認印（割印可）が必要です。
2. 本学所定用紙は本学入試情報サイトよりダウンロードし、印刷してください。
3. 外部から取り寄せる書類は、発行までに時間を要するものがあるため、余裕をもって準備してください。
4. 提出された出願書類について確認事項がある場合、大学から志願者に対して、登録された電話番号宛に、または「マイページ」より確認の連絡をします。志願者が確認依頼に回答しない等の事由から、大学において出願資格または出願書類についての確認が取れなかった場合には、出願を受けません。なお、上記により出願不可となった場合において、大学からの確認依頼に応じられなかった等を理由とした出願資格の再審査等の申し出には一切応じません。

提出書類一覧（編入学・転入学により、提出書類が異なります）

下記の書類のほか、必要に応じて履修要覧、講義要項（修得した科目、および現在履修中の科目の講義内容を記載したもの〈※コピー可〉）などの提出を求める場合がありますので、事前に準備をしておいてください。

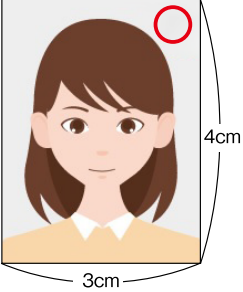
提出書類	編入学 / 社会人編入学試験	転入学 / 社会人転入学試験
(1) 志願票	○	○
(2) 履歴書（本学所定用紙）	○	○
(3) 卒業（見込）証明書	○	不要
(4) 退学証明書または在学証明書	不要	○
(5) 成績証明書	○	○
(6) 履修証明書（単位数が明記されているもの）	○（履修中の科目がある場合）	○（履修中の科目がある場合）
(7) 大学編入学資格証明書（本学所定用紙）	※1	不要
(8) 各種資格証明書	※1	不要
(9) 外部試験スコアに関する証明書	※2	※2

○……………志願者全員が必ず提出するもの

※1 社会学部（第2部含む）の志願者のうち、出願資格4に該当する者は、必ず提出してください。

※2 編入学・転入学試験の志願者は必ず提出してください（情報連携学部を除く）。

出願書類（編入学・転入学により出願書類が異なります）

1 志願票	(1) 「志願票」はインターネット出願登録後、A4サイズ of 用紙で印刷してください。出願登録時に入力した内容が印字されていますので、内容を確認のうえ、誤りがなければ顔写真を貼付してください。なお、顔写真は所定の場所に、以下の点に注意して貼付してください。 【適切な写真の例】  ● 出願時点から3カ月以内に撮影したもので、たて4cm×よこ3cmの上半身・無帽・正面・背景の無いカラー写真（白黒不可）。 ● ピントが合っており、肩の一部と顔全体が鮮明に写っているもの。 ● 服装は私服・制服を問いません。ただし、提出された写真は入学後、学生証用として卒業まで使用します。 ● 受験時に眼鏡等を着用する者は、眼鏡等を着用して撮影したもの。 ● 画像に加工を施していないもの。 ● 光沢仕上げでプリントされたもの。絹目（つや消し）仕上げや普通紙への印刷は不可。 ● 志願票の所定の位置に剥がれないように貼付してください。 【不適切な写真の例】  正面を向いていない 背景がある（風景、柄が写っている） 照明が反射して顔の一部が見えない ピンボケや手振れにより不鮮明 前髪で目元が隠れている 顔に影がかかっている サングラスを着用している、マフラーやスカーフで輪郭が隠れている 枠からはみ出ている (2) 氏名等の表記はJISの第2水準とします（例：高→高など）。 ※JISの第2水準ではない表記は、本学で別の表記に置き換えることがあります。
2 履歴書 [本学所定用紙]	(1) 本学入試情報サイトよりダウンロードし、A4サイズ of 用紙で印刷してください。 (2) 志願者本人ががていねいに記入してください（黒のボールペンで記入すること）。 ※文学部日本文学文化学科の志願者は、「志願理由」の項目を別紙に1,000字以内で記入してください。
3 卒業（見込）証明書 ＜編入学試験の志願者のみ＞	(1) 入学年月日、卒業年月日、修業年数、卒業資格等について記載された証明書を提出してください（卒業証書（Diploma）とは異なります）。 (2) 統廃合等により出身校から証明書の発行を受けられない等のやむを得ない事情により、証明書が提出できない場合に限り、卒業証書のコピーの提出を認めます。 (3) 卒業（見込）証明書または卒業証書のコピーを提出した場合、合格後に原本確認を行います。 (4) 証明書等と志願票の氏名の表記が異なる場合は、本人であることを証明する書類を添付してください。ただし、旧字体と略字体である常用漢字との相違については不要です。 （例）“澤”→“沢”

4 退学証明書または 在学証明書 <転入学試験の志願者のみ>	コピーを提出した場合、合格後に原本確認を行います。
5 成績証明書	(1) 修得した全科目の成績および単位数が明記されたものを提出してください。 ※現在履修中の科目がある場合には、証明書に科目名、単位数、履修年度の記載があるものがが必要です。 (2) 在籍した全学年(それぞれの学年)の成績を証明したものがが必要です。 ※「飛び級」「繰り上げ」等に該当するもので、その経緯などが成績証明書に記載されていない時は、出身学校作成の書類を提出してください。 (3) 統廃合等により出身校から証明書の発行を受けられない等のやむを得ない事情により、証明書が提出できない場合に限り、成績原簿のコピーの提出を認めます。 (4) コピーを提出した場合、合格後に原本確認を行います。 (5) 履修登録確認表またはWeb登録画面を印刷したもの等、<u>記載内容についての証明がされていない書類は受理できません。</u> ※上記により、本学が出願資格を満たしていることの確認を行えない場合は受験できません。
6 履修証明書	(1) 現在履修中の科目がある場合にはその科目名、単位数、履修年度等が記載されているもので在籍している学校が証明したものを添付してください。 ※成績証明書に現在履修中の科目名、単位数、履修年度が明記されている場合は必要ありません。 (2) 履修登録確認表またはWeb登録画面を印刷したもの等、<u>記載内容についての証明がされていない書類は受理できません。</u> ※上記により、本学が出願資格を満たしていることの確認を行えない場合は受験できません。
7 大学編入学資格証明書 <専修学校専門課程の志願者のみ> [本学所定用紙]	A4サイズの用紙で印刷し、必要事項を記入してください。 必要事項の記入は担当教員が行い、学校長および作成者が署名捺印のうえ、厳封して提出してください。
8 各種資格証明書 <専修学校専門課程の志願者のみ>	専修学校専門課程からの出願資格に該当することを証明するもので、各出身校で作成したものや、国家試験合格証明書などを提出してください。
9 外部試験スコアに関する証明書 <編入学・転入学試験の志願者のみ> (情報連携学部除く)	以下の英語外部試験スコアの証明書(コピー可)のうち、いずれか一つを提出してください <u>(必須提出)</u>。 各外部試験のオンライン成績照会画面等のコピーの提出は原則認めません。 なお、提出する書類は2024年11月1日以降に受験したものを有効とします。また、コピーを提出して合格した場合、合格後に原本確認を行います。 <国際学部の志願者> ① TOEFL iBT® (Home Editionを含む) Official Score Reports ② IELTS™ (Academic Module) Test Report Form ※①のTOEFL®のスコア証明書を提出する場合は、以下の(1)および(2)の両方の手続を行ってください。 (1) 出願期間最終日までにETSにて証明書の発送手続を行ってください。 (東洋大学DIコード: 9867) (2) 受験者用控えスコア(コピー可)を提出してください。 (受験者用控えスコアを提出できない場合は、TOEFL®受験時における以下を記載したメモを出願時に同封してください。) 「(a) Appointment (Registration) Number (b) Test Date (c) TOEFL®に登録した英字姓名」 ※②のIELTSスコアの証明書について、コンピューター版で受験した場合は、WebサイトからダウンロードしたPDF版TestReportForm (eTRF)を印刷したものでも可。 <国際学部以外の志願者> TOEIC® L&R Official Score Certificate (IP: Institutional Program 等、公的スコア以外の試験の結果は不可)。 ※TOEIC®のスコア証明書について、デジタル公式認定証の場合、PDF版をダウンロードし、印刷したものを提出してください。また、Score Descriptors、ABILITIES MEASUREDを含む証明書全面を提出してください。 ※文学部英米文学科の志願者で、出願資格以外に英語能力を客観的に証明できる資料がある場合は、上記の英語外部試験スコアの証明書(コピー可)とあわせて任意で提出してください。[例] 実用英語技能検定合格証書等のコピー

入学検定料

1. 入学検定料 …… 35,000円

入学検定料の納入は、インターネット出願登録後、「試験日程」に記載されている出願期間内に、以下のいずれかの方法で行ってください。出願書類が郵送されても入学検定料の納入がない場合、または入学検定料が納入されても出願書類の郵送消印日が出願期間を過ぎている場合は、受付できません。なお、入学検定料のほかに別途手数料等がかかります。

納入方法に応じて金額が異なりますので、出願登録時に表示される「インターネット出願ガイダンス」ページで確認してください。

納入方法
コンビニエンスストア
ペイジー（「Pay-easy」のマークのある金融機関のATM）
インターネットバンキング
クレジットカード

※ 金融機関の窓口での納入はできません。

※ 納入方法および利用可能なコンビニエンスストア・クレジットカード、ペイジー・インターネットバンキング対応金融機関については、出願登録時に表示される「インターネット出願ガイダンス」ページで確認してください。

※ コンビニエンスストアでの支払いは、土日・祝日問わず、営業時間内であればいつでも可能です。

※ クレジットカードの支払方法は、一括払いのみとなります。クレジットカードの利用限度額を確認した上で利用してください。なお、支払いされるカードの名義人は受験生本人でなくても構いません。

※ 入学検定料収納証明書（領収書等）は必ず保管してください（収納証明書、領収書等のコピーを送付する必要はありません）。

2. 入学検定料の返還

一旦納入された入学検定料は事情の如何にかかわらず返還しません。

ただし、以下の1または2のいずれかに該当する場合は返還の対象となりますので、返還を申請される方は下記の申請期間にマイページより返還申請を行ってください。

1. 入学検定料を納入したが、志願票を郵送しなかった。
2. 入学検定料を納入して志願票を郵送したが、他の出願書類に不備等があり、出願が受理されなかった。

【申請期間】

返還対象となった入試の試験日翌日から2027年1月4日（月）まで

上記の期間にマイページ内の「入学検定料返還申請」より申請手続きを行ってください。

なお、申請期間外である場合、または申請期間内であっても上記の要件に該当しない場合は、マイページにログインしても申請手続きを行うことはできません。

【返還予定】

申請完了した月の2カ月先の末日

例：12月25日に申請完了した場合、2月末日

※ 書類または電子メール等による返還申請には一切応じません。

※ 申請期間経過後の返還請求には一切応じません。

※ 申請の際、返還先口座の金融機関名、支店名、口座番号、口座カナ名義が記載されたもの（通帳等）の画像ファイル（jpg / jpeg）のアップロードが必要となりますので、事前に準備をしてください。なお、画像ファイルは、上記の返還先口座情報を確認できるものであれば、スマートフォン等で撮影したもので構いません。

※ 返還先口座として、日本国外の金融機関は指定できません。

※ 指定された口座情報が誤っている、申請内容に不備がある、申請内容についての本学からの確認依頼に回答しない等の事由により、本学が申請を受理できない場合には返還しません。

※ 支払手数料は返還の対象とはなりません。

受験上の配慮

病気・負傷や障がい等のために、入学試験の受験に際して配慮を希望する場合（日常的に使用している補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験するなどを含む）は、試験会場設定や他の配慮内容との関係から、必ず下記の申請締切日までに「受験相談申請書」を記入して入試部にご相談ください。ただし、必ずしも全てのご希望に添えるとは限りませんので予めご了承ください。

また、配慮内容について大学との事前の相談を希望する場合は、「受験相談申請書」の該当欄にその旨を記入してください。入学後の修学上の配慮については、原則として入学手続後に別途申請となります。

なお、「受験相談申請書」の提出に関する詳細については下記本学入試情報サイトに掲載してあります。

東洋大学入試情報サイト → 入試情報 → 受験上の配慮について

URL <https://www.toyo.ac.jp/nyushi/admission/care>

【申請期限】

2026年8月28日(金)17:00まで

※申請期限後は一切受付できませんのでご注意ください。

区 分	対 象 と な る 者	配 慮 事 項 (例)
視覚に関する 配慮事項	・ 点字による教育を受けている者 ・ 両眼の矯正視力がおおむね0.3未満の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者 ・ 視力以外の視機能障がいが高い者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者 ・ 上記以外で視覚に関する配慮を必要とする者	・ 点字解答 ・ 試験時間の延長 ・ 拡大文字問題冊子の配付 ・ 拡大鏡等の持参使用 ・ 窓際の明るい座席を指定
聴覚に関する 配慮事項	・ 両耳の平均聴力レベルが60デシベル以上の者 ・ 上記以外で聴覚に関する配慮を必要とする者	・ 注意事項等の文書による伝達 ・ 座席を前列に指定 ・ 補聴器又は人工内耳の装用
肢体不自由に 関する配慮事項	・ 体幹の機能障がいにより座位を保つことができない者又は困難な者 ・ 両上肢の機能障がいが高い者 ・ 上記以外で肢体不自由に関する配慮を必要とする者	・ チェック解答 ・ 試験時間の延長 ・ 1階又はエレベーターが利用可能な試験室で受験 ・ トイレに近い試験室で受験 ・ 車椅子、杖の持参使用
病弱に関する 配慮事項	・ 慢性の呼吸器疾患、心臓疾患、腎臓疾患、消化器疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者	・ 1階又はエレベーターが利用可能な試験室で受験 ・ 杖の持参使用 ・ 別室の設定
発達障がいに関 する配慮事項	・ 学習障がい、注意欠如・多動症(注意欠陥多動性障がい)、自閉スペクトラム症(自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障がい)等のため配慮を必要とする者	・ 試験時間の延長 ・ チェック解答 ・ 拡大文字問題冊子の配付 ・ 注意事項等の文書による伝達
その他	・ 上記の区分以外で配慮を必要とする者	・ トイレに近い試験室で受験 ・ 座席を試験室の出入口に近いところに指定

受験票

- ・ 受験票の郵送は行いません。マイページの「受験・合否情報確認」から受験生各自が印刷し、試験当日に必ず持参してください。
- ・ 受験票の印刷可能予定日は「試験日程」のページを確認してください。
- ・ 受験票は必ずA4サイズで印刷してください(モノクロおよびカラー印刷のいずれでも可能ですが、縮小や拡大印刷はしないでください)。
- ・ 印刷した受験票は点線に沿って折り曲げ、右上の受験番号が記載されている面を表にして、試験会場の机の上に置いてください。
- ・ 印刷後、記載内容に誤りがないか必ず確認してください。
- ・ 受験票印刷可能予定日を過ぎてもマイページから受験票を印刷することができない場合は、入試部にお問い合わせください。

試験当日の注意事項

- (1) 試験会場の所在地および開門時間は「キャンパス案内図」のページで確認してください。試験会場を間違えると受験できませんので、十分に注意してください。
- (2) 受験票はマイページの「受験・合否情報確認」から印刷し、必ず持参してください。試験会場または試験教室の入口で、受験票の提示が必要になります。受験票を忘れた場合、受験できない場合があります。なお、受験生の付き添い者は試験教室に入室できません。**また、付き添い者の控室はありません。**
- (3) 試験教室等は、試験当日の朝、試験会場の入口に掲示します。
- (4) 試験教室では、机の上の座席票の受験番号が受験票の受験番号と同一であることを確認して、着席してください。自分の受験番号と異なる席に着席し、受験した場合、受験が無効となる場合がありますので、十分に注意してください。
- (5) 試験開始時刻に遅刻した場合は、**試験開始から20分以内の遅刻に限り、受験を認めます。20分経過後は、1時限目だけでなく2時限目以降の受験もできません。**なお、1時限目を受験した場合で、2時限目以降において試験開始後20分までに試験場へ入室できない場合は、当該時限以降の受験はできません。
- (6) 試験会場には駐車場がありませんので、自動車・バイク等での試験会場への乗り入れはできません。
- (7) 試験教室では、すべて試験監督者の指示に従ってください。また、試験会場・試験教室において、他の受験生に迷惑となるような行為は禁止します。従わない場合は不正行為とみなし、退室させることがあります。
- (8) 試験が終了するまでは、特別な事情がない限り試験会場外へは出られませんので、必要に応じて昼食等を持参してください。なお、試験当日は学生食堂、売店等は営業していません。
- (9) **試験当日、試験会場周辺に合格電報・合格電話等を取り扱っている業者がありますが、本学とはまったく関係がありません。この業者に関して発生した事故について、本学は一切責任を負いませんので十分に注意してください。**
- (10) 試験教室には、時計がありません。また、携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末等の電子機器類を時計代わりに使用することはできません。必要に応じて、**時計(辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針用のするもの・キッチンタイマー・大型のものは不可。)**を持参してください。なお、時計の貸出しは行っていません。
- (11) 不正行為となった場合は、それ以降の受験はできません。なお、その場合における入学検定料の返還の求めには応じません。
- (12) 不正行為が認められた場合、警察へ被害届を提出する等の対応をとる場合があります。

試験当日に交通機関の乱れが生じている場合

試験当日、雪などの天候不良や事故、地震などにより交通機関の乱れが生じている場合でも、まず試験会場に向かってください。本学では追試験・再試験は行いませんので、その日のうちに必ず入学試験は行われるものと理解してください。

各試験会場への主要公共交通機関(バス・車を除く)の乱れなどにより、多数の受験者が試験開始時刻に間に合わないとうかがわれ、大学が判断した場合に限り、試験開始時刻を遅らせることがあります。

ただし、それに伴う受験者の不便、費用、その他の個人的損害については何ら責任を負いません。

詳細については措置内容が決定した後、本学入試情報サイトに随時掲載しますので、各自で確認をしてください。

学校保健安全法等で出席の停止が定められている感染症に関する注意事項

入学試験実施にあたり、学校保健安全法等で出席の停止が定められている感染症(新型コロナウイルス・インフルエンザ等)の蔓延が確認された場合、関係行政機関等の対応を考慮した上で、試験実施について具体的な措置をとる場合があります。

また、感染症に罹患し治癒していない受験者が確認された場合、同じく関係行政機関等の対応を考慮した上で、試験実施について具体的な措置をとる場合もあります。なお、試験実施について措置がとられた場合でも、それに伴う受験者の不便、費用、その他の個人的損害については何ら責任を負いません。

詳細については措置内容が決定した後、本学入試情報サイトに随時掲載しますので、各自で確認をしてください。

受験生の皆さんへお願い

- (1) 入学試験会場での感染症(新型コロナウイルス・インフルエンザ等)の感染を防ぐため、必要に応じて各自でマスクを用意してください。
- (2) 咳・くしゃみが出る場合は、マスクを着用する、咳エチケットを守るなど周囲の受験生への感染防止に配慮してください。
- (3) 休憩時間中他、ドア・窓等を開放して外気との換気を行う場合があります。寒暖については各自、体温調整が可能な服装で受験してください。
- (4) 感染症等の感染を防ぐため、必要な指示および措置を講じる場合は、決定次第、東洋大学入試情報サイト(<https://www.toyo.ac.jp/nyushi/>)等にてお知らせします。

試験時間中の注意事項

受験票等所持品の扱い

- (1) 「受験票」は右上の受験番号が記載されている面を表にして、点線に沿って十字折りし、必ず机の上に置いてください。
- (2) 「受験票」の他に試験時間中、机の上に置けるものは、次のとおりです。

- ・黒鉛筆 (HBまたはBに限る。和歌・格言等が印刷されているものは不可。)、鉛筆キャップ
 - ・シャープペンシル (HBまたはBの黒い芯に限る。和歌・格言等が印刷されているものは不可。)、芯ケース
 - ・プラスチック製の消しゴム
 - ・鉛筆削り (電動式・大型のもの・ナイフ類は不可。)
 - ・時計 (辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものは不可。)
 - ・眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー (袋又は箱から中身だけ取り出したもの。)
- ただし、福祉社会デザイン学部人間環境デザイン学科に関しては、「2B～4Bの黒鉛筆およびシャープペンシル」の使用を認めます。

- (3) 「下敷き」「そろばん」「電卓」「グラフ用紙」「定規」などの用具は使用できません。
- (4) **アラーム機能のついた時計は、試験教室に入る前に必ずアラームの設定を解除してください。**
- (5) 携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末 (例：スマートウォッチやスマートグラス等)・タブレット型端末等の電子機器類は、試験教室に入る前に必ずアラームの設定を解除し、電源を切ってかばん等に入れておいてください。試験時間中にこれらをかばん等にしまわず、身に付けていたり、手に持っていると不正行為とみなされることがあります。アラームは、設定を解除しないと電源を切っても鳴ることがありますので、注意してください。なお、試験時間中にかばん等の中で携帯電話の着信音やマナーモードの振動音などが発生した場合には、監督者が本人の了解を得ずにかばん等を教室外に持ち出し、実施本部で当該試験時間終了まで保管します。
- (6) 「耳せん」は、試験監督者の指示等が聞き取れないことがありますので、使用できません。
- (7) **試験教室内で、「英文字」「地図」「格言」等がプリントされている衣服等は着用しないでください。着用している場合には、脱いでもらうことがあります。また、帽子・マフラーは原則として使用できません。**
- (8) 「座布団」「クッション」「タオル」「ひざ掛け」「手袋 (多汗症用を含む。)」の使用を希望する場合は、試験開始前に試験監督者に申し出て、許可を受けてから使用してください。

試験時間中の退室

試験時間中は試験終了までは退室を認めません。試験中の発病またはトイレ等やむを得ない場合には、手を挙げて試験監督者の指示に従ってください。

ただし、一時退室が認められた場合でも、一時退室した分の試験時間の延長は認められません。

試験時間中の試験監督者の指示

試験時間中は、試験監督者の指示に従ってください。従わない場合は不正行為とみなし、退室させることがあります。なお、その場合における入学検定料の返還の求めには応じません。

不正行為

次の行為は不正行為となることがあります。不正行為となった場合は、それ以降の受験はできません。また、既に受験した科目の受験も無効となります。なお、その場合における入学検定料の返還の求めには応じません。

- (1) 解答用紙へ故意に虚偽の記入 (本人以外の氏名・受験番号を記入するなど) をすること。
- (2) カンニング (カンニングペーパー・参考書・他の受験生の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど) をすること。
- (3) 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- (4) 「下敷き」「そろばん」「電卓」「グラフ用紙」「定規」など、使用を禁じられた用具を使用して問題を解くこと。
- (5) 試験開始の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
- (6) 配付された問題冊子をその試験時間が終了する前に試験教室から持ち出すこと。
- (7) 試験終了の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。
- (8) 試験時間中に、出題内容、あるいは解答を教えるなど他の受験生が有利となるような行為をすること。
- (9) 試験時間中に携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末 (例：スマートウォッチやスマートグラス等)・タブレット型端末等の電子機器類を身につけていること。
- (10) 試験時間中に携帯電話や時計等の音 (着信・アラーム・振動音など) を鳴らすこと。
- (11) 試験会場において他の受験生の迷惑となる行為をすること。
- (12) 試験会場において試験監督者等の指示に従わないこと。
- (13) その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

※不正行為が認められた場合、警察へ被害届を提出する等の対応をとる場合があります。

その他の注意事項

- (1) 試験時間中に監督者が受験生の顔の確認を行います。マスクの着用等により本人確認できない場合、一時的に外す等の指示をすることがあります。
- (2) 試験時間中に日常的な生活騒音等（監督者の巡視による足音・監督業務上必要な打合せ、航空機・自動車・風雨・空調の音、周囲の受験生の咳・くしゃみ・鼻をすする音、携帯電話や時計等の短時間の鳴動、周囲の建物のチャイム音など）が発生した場合でも救済措置は行いません。
- (3) 机、椅子、空調等の試験教室による相違は一切考慮しません。

合格発表

- (1) **合格発表はマイページにて行います。合格発表日後に、マイページの「受験・合否情報確認」から合否結果を確認してください。**
 - ※ 合格発表の公開開始時間は、合格発表日の10:00を予定しています。
 - ※ 合格発表の開始直後はアクセス集中に伴い、マイページにログインしづらくなる場合があります。
- (2) 郵送による合格通知書の発送は行いません。合格通知書はマイページの「受験・合否情報確認」から必要に応じて印刷し、各自保管してください。
 - ※ 合格通知書には、重要な個人情報が記載されています。SNS等での公開は絶対に行わないでください。
 - ※ 合格通知書は、2027年4月5日（月）まで確認（印刷）が可能となります。
- (3) 合否結果に関する問い合わせには、一切応じません。また、マイページからの出力以外の方法による合格通知書発行の申し出にも応じません。
- (4) 入学試験の成績開示については、2027年3月に本学入試情報サイトにてお知らせします。

入学手続

マイページの「受験・合否情報確認」から手続をする学部学科・専攻の入学手続サイトにアクセスし、入学手続締切日まで入学手続を行ってください。手続方法の詳細は、入学手続サイトに掲載される「入学手続のしおり」を必ず確認し、「納付金納入手続」と「オンライン入学手続(学生情報の登録)」の両方を行ってください。

1. 入学手続には **A.一括入学手続** と **B.2段階入学手続** の2つの方法があります。いずれかの方法を選択してください。

A.一括入学手続

すでに本学への入学を決めている場合の手続方法です。

入学手続締切日までに、入学手続サイトで、以下の手続を行ってください。

- ① 入学する学部学科・専攻の「納付金納入手続」の画面より、手続方法「一括入学手続」を選択し、納付金を納入してください。
- ② 入学する学部学科・専攻の「オンライン入学手続」の画面より、一括入学手続に必要な項目を入力してください。

〈入学手続締切日〉 2026年12月11日(金)

B.2段階入学手続

他大学または本学の複数学部・学科を併願しているなど、入学辞退の可能性のある場合の手続方法です。2段階入学手続には、第1次手続(入学申込手続)と第2次手続(本手続)の手続が必要となります。

入学手続締切日までに、入学手続サイトで、以下の手続を行ってください。

・第1次手続(入学申込手続)

- ① 手続する学部学科・専攻の「納付金納入手続」の画面より、入学申込金(入学金相当額)のみを納入してください。
- ② 手続する学部学科・専攻の「オンライン入学手続」の画面より、第1次手続(入学申込手続)に必要な項目を入力してください。

〈入学手続締切日〉 2026年12月11日(金)

※ 入学申込金は第2次手続(本手続)を行った場合には入学金に充当します。

・第2次手続(本手続)

- ① 手続する学部学科・専攻の「納付金納入手続」の画面より、入学申込金(入学金相当額)を除く納付金を納入してください。
- ② 手続する学部学科・専攻の「オンライン入学手続」の画面より、第2次手続(本手続)に必要な項目を入力してください。

〈入学手続締切日〉 2027年3月5日(金)

※ 入学手続締切日までに上記手続が完了しない場合は、当該合格者に入学の意思がないものとみなし、締切後の入学手続は一切受け付けません。入学手続未完了者に対して個別に手続催告等の通知は行いませんので、各自の責任で手続を完了させてください。

※ 納入した入学金(入学申込金)は、「東洋大学の合格した学部学科・専攻に入学し得る地位を取得するための対価」としての金員であるため、入学を辞退した場合を含め、事情の如何にかかわらず返還しません。また提出した書類は返還しません。

※ 納入した入学金(入学申込金)を除く納付金は、入学辞退が認められた場合にのみ返還します。それ以外の場合には、誤入金等を含め、事情の如何にかかわらず返還しません。振替もできません。

編入学・転入学 社会人編入学・転入学試験に関する特記事項

- (1) 編入学により入学する者の認定可能な単位は、3年次は62単位までとします。
- (2) 卒業見込・単位修得見込で受験し、2027年3月に卒業または修了(単位修得を含む)できなかった場合は、編入学・転入学の資格を取り消します。

納付金

2027年度入学生 納付金内訳(予定)

(単位:円)

			入学手続時 必要額	入学後 <10月>	学費					その他の費用	初年度納付金 合計
					入学金 (入学申込金)	授業料	一般施設 設備資金	実験実習料	教育充実料	雨水会費	
第1部	文学部	教育学科 初等教育専攻	830,000 (705,000)	575,000	250,000 (125,000)	900,000	250,000			5,000	1,405,000 (1,280,000)
		教育学科初等教育 専攻を除く全学科	760,000 (635,000)	505,000	250,000 (125,000)	790,000	220,000			5,000	1,265,000 (1,140,000)
	経済学部・経営学部・法学部		760,000 (635,000)	505,000	250,000 (125,000)	790,000	220,000			5,000	1,265,000 (1,140,000)
	社会学部	社会学科	760,000 (635,000)	505,000	250,000 (125,000)	790,000	220,000			5,000	1,265,000 (1,140,000)
		国際社会学科・ 社会心理学科	767,500 (642,000)	512,500	250,000 (125,000)	790,000	220,000		15,000	5,000	1,280,000 (1,155,000)
		メディアコミュニ ケーション学科	765,000 (640,000)	510,000	250,000 (125,000)	790,000	220,000		10,000	5,000	1,275,000 (1,150,000)
	国際学部・国際観光学部		795,000 (670,000)	540,000	250,000 (125,000)	860,000	220,000			5,000	1,335,000 (1,210,000)
	情報連携学部		965,000 (840,000)	710,000	250,000 (125,000)	1,100,000	320,000			5,000	1,675,000 (1,550,000)
	福祉社会 デザイン学部	社会福祉学科・ 子ども支援学科	810,000 (685,000)	555,000	250,000 (125,000)	830,000	240,000	40,000		5,000	1,365,000 (1,240,000)
		人間環境 デザイン学科	900,000 (775,000)	645,000	250,000 (125,000)	890,000	300,000	100,000		5,000	1,545,000 (1,420,000)
	健康スポーツ 科学部	健康スポーツ科学科	880,000 (755,000)	625,000	250,000 (125,000)	870,000	300,000	80,000		5,000	1,505,000 (1,380,000)
		栄養科学科	905,000 (780,000)	650,000	250,000 (125,000)	920,000	300,000	80,000		5,000	1,555,000 (1,430,000)
	理工学部		972,500 (847,500)	717,500	250,000 (125,000)	1,090,000	260,000	85,000		5,000	1,690,000 (1,565,000)
	総合情報学部		920,000 (795,000)	665,000	250,000 (125,000)	1,030,000	260,000	40,000		5,000	1,585,000 (1,460,000)
	環境イノベーション学部		992,500 (867,500)	737,500	250,000 (125,000)	1,090,000	300,000	85,000		5,000	1,730,000 (1,605,000)
	生命科学部・食環境科学部		985,000 (860,000)	730,000	250,000 (125,000)	1,020,000	360,000	80,000		5,000	1,715,000 (1,590,000)
	第2部・イブニングコース		445,000 (355,000)	265,000	180,000 (90,000)	430,000	100,000				710,000 (620,000)

*かっこ内は本学からの編入学生に適用される金額です。

《備考》

- ・入学手続時に必要な納付金は、「入学金」と「学費(入学金以外)の1/2」と「その他の費用」です。
- ・()内は本学からの編入学生に適用される金額です。本学(通信教育課程・短期大学含む)からの編入の場合、入学金(入学申込金)は半額になります
- ・入学金(入学申込金)の納入は、初年度のみです。
- ・納入した入学金(入学申込金)は、「東洋大学の合格した学部学科・専攻に入学し得る地位を取得するための対価」としての金員であるため、入学を辞退した場合を含め、事情の如何にかかわらず返還しません。また提出した書類は返還しません。
- ・その他の費用については、各団体からの依頼に基づき、本学が代理徴収しています。
- ・上記の金額は納入予定額のため、変更となる場合があります。
- ・上記の表は全学部・学科の納付金を掲載しています。入試方式によって募集学部・学科は異なります。
- ・文学部史学科に入学される方は、学会費が別途6,000円必要となります。(3年次編入・転入の場合は3,000円、2年次編入・転入の場合は4,500円。)
- ・社会学部国際社会学科に入学される方は、1年次に1週間程度の国内外での国際社会体験演習に参加するため、これに伴う費用(交通費・宿泊代・教材費・食費等)国内10万円程度、海外30万~40万円程度(長期プログラム希望者は35万~40万円程度)が別途必要になります。
- ・入学後の履修科目・所属コースによっては、各種実習料が必要となる場合があります。
- ・所定の修業年限を超えた方は、納付金額が変更となる場合があります。
- ・納付金についての最新情報は、東洋大学ホームページで確認してください。

入学手続後の入学辞退と納付金の返還

本学への入学手続を完了した後に、以下の理由で本学が定める手続により入学辞退の届出をした者には入学辞退を認め、入学金を除く納付金を返還します。

- ・病気やけが、経済的困窮等により就学が困難になった場合
- ・出願資格または大学入学資格を取得見込で受験し、入学時まで要件を満たせなかった場合
- ・合格発表後等に出願資格及び出願資格審査に関わる書類に虚偽の記載があることが判明した場合
- ・その他やむを得ない事情により、入学を辞退する場合

詳細は、入学手続サイトに掲載される「入学手続のしおり」で確認してください。

〈入学辞退届出の期限〉2027年3月31日(水)

在留資格（日本国以外の国籍を有する者）

本学に入学を許可された外国人学生は、「留学」の在留資格を申請することができます。ただし、2027年4月1日時点で「留学」または他の中長期在留資格を取得していない場合は原則として入学することはできません。

日本国以外の国籍を有する志願者が、第2部・イブニングコース（夜）へ入学した場合、在留資格「留学」を取得することはできません。

詳しくは、こちらのWebサイトを出願前に必ず確認してください。

<https://www.toyo.ac.jp/academics/international-exchange/enroll/prearrival/#anc06>

●有効な在留資格がある場合（日本に居住している方）

(1) 「留学」の在留資格を有している場合

すでに「留学」の在留資格がある場合、現在の在留資格期限に応じて在留期間更新許可申請を行ってください。詳しくは「入学手続きのしおり」を確認してください。

ただし、下記項目に該当する場合は、一度出国し、以下「有効な在留資格がない場合」と同じ手続を求める場合があります。この場合、本学では「留学」の在留期間更新許可申請は行いません。

① 本学入学前に在籍している教育機関で「留学」の在留資格を取得しており、前の教育機関の課程修了（卒業）から本学への入学までの期間が3カ月以上あいている場合

② 本学入学前に在籍している教育機関で「留学」の在留資格を取得しており、時期に関係なく前の（または現在在籍している）教育機関の課程を修了（卒業）せずに退学をした（またはする予定）場合等、本学が在留期間更新許可申請は不適切と認めた場合

※事情により、「在留資格認定証明書」の交付が2027年4月1日の入学に間に合わない場合もありますが、授業を欠席する等に伴う不利益について、本学は一切の責任を負わないものとしますので、ご注意ください。

(2) 「短期滞在」の在留資格を有している場合

「短期滞在」の在留資格では、大学に在籍することができません。入学前に「留学」の在留資格を取得する必要がありますので、「有効な在留資格がない場合」と同じ手続を行ってください。

(3) 「留学」「短期滞在」以外の有効な中長期在留資格を有している場合

2027年4月1日時点で「定住者」「家族滞在」等の有効な中長期在留資格を有していれば、大学に在籍することができます。ただし、授業料減免や奨学金受給等の各種支援制度の利用を希望する場合は、「留学」の在留資格が必要です。「留学」への在留資格変更を希望する場合は「在留資格変更許可申請」の手続をしてください。手続の方法は合格発表後、「入学手続きのしおり」でお知らせします。

※合格者は、学費及び日本での生活費を十分に支弁できることを証明するため、就学手続の際に、保証人（経費支弁者）又は本人名義の預金残高証明書を提出する必要があります。

<1年間の生活費（月額12万円×12ヶ月分）＋本学学費以上の残高があるもの>

※入学前に在籍した教育機関における在籍状況（日本語学校の出席率、大学・専門学校の成績等）が著しく不良である場合、在留資格更新に影響する可能性があります。特に、日本語学校等の出席率が80%未満の場合は、出入国在留管理庁による在留資格更新審査において不許可となる可能性が高いことから、本学でも在留資格更新手続を認めないことがあります。

●有効な在留資格がない場合（日本に居住していない方）

日本に入国し、大学に在籍するためには、「在留資格認定証明書」の交付申請をする必要があります。交付申請の手続は、日本国内の出入国在留管理庁で①本人、②本人の親族、③経費支弁者（大学の学費等を支払ってくれる方）のいずれかが行う必要があります。本人もしくは代理人（親族または経費支弁者）が日本にいない場合、本学指定の行政書士を通して在留資格の代理申請を行うことができます。代理申請に必要な書類の提出方法については、合格発表後、「入学手続きのしおり」でお知らせします。なお、「在留資格認定証明書」は、申請してから交付されるまで2～3カ月かかります。また、「在留資格認定証明書」が交付されたら、他の必要書類を用意して、自国または居住地の在外日本公館より「留学ビザ（査証）」の発給を受けてから来日してください。

※大学が代理申請を行う在留資格は「留学」です。

※代理申請には「学費支弁能力証明書」が必要です。準備には時間を要する場合があるため、あらかじめ準備をしてください。

※本学で「在留資格認定証明書交付」の代理申請を希望する場合、過去の交付申請回数と不交付になった回数を正しく申し出てください。また、提出した全ての書類および入力内容等に関して、虚偽の報告により不交付となった場合、大学での再申請は受付しません。

※「在留資格認定証明書」については出入国在留管理庁が、ビザ取得については在住国の在外日本公館がそれぞれ審査を行います。不交付・不発給となった場合について、大学は一切責任を負いません。

高等教育の修学支援新制度について

「高等教育の修学支援新制度」は日本学生支援機構の給付奨学金と大学による授業料等減免からなる国の経済支援制度で、東洋大学は対象機関に認定されています。

●納付金について(入学金・授業料)

入学手続時の納付金について事前減免、納付猶予は適用できません。入学手続締切日までに正規の金額を納付いただきます。本学入学後に在学採用の手続を行い、採用となった場合は支援区分に応じた減免相当額を還付します。編入学等する異動元の学校で、すでに修学支援新制度を利用されている方も、同様の取扱いとなります。

★本制度の詳細については、文部科学省特設サイト・独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)ホームページにてご確認ください。

★東洋大学において、支援区分(第Ⅳ区分)の「理工農系」の対象となる学部・学科専攻は以下の通りです。

情報連携学部(全学科)、健康スポーツ科学部(栄養科学科)、理工学部(全学科)、総合情報学部(全学科・専攻)、生命科学部(全学科)、食環境科学部(全学科)

※2027年4月に開設される環境イノベーション学部(全学科)も、「理工農系」の対象として現在申請中です。
申請結果については、2026年8月下旬(予定)を目途に本学WEBサイト等にてお知らせいたします。



★授業料減免の金額等の詳細については、本学ホームページをご覧ください。

<https://sites.google.com/toyo.jp/gakubu-scholarship/sc/index/jasso-kyufu>

教育ローン等について

学資を準備するための制度として、日本政策金融公庫による「国の教育ローン」や、本学と金融機関との提携による「東洋大学教育ローン」があります。ただし、教育ローンの利用が間に合わないことを理由に、入学手続きが遅れることは認められません。教育ローンの利用を検討している場合は、早めに各貸付先にお問い合わせください。

【国の教育ローン】

問い合わせ先：日本政策金融公庫

※申込目安は、必要時期の2～3カ月前です。詳細は問い合わせ先にご確認ください。

【東洋大学教育ローン】

● 提携先金融機関

三井住友銀行

問い合わせ先：ネットローンプラザ 電話：0120-338-555

楽天銀行

問い合わせ先：教育ローン専用ダイヤル 電話：0120-61-6910

提携校コード：TYU00074 申込コード：1001

※本制度は、東洋大学へ確実に入学する方が対象となります。また、確実な返済計画を立てたうえでお申し込みください。

※申込目安は、必要時期の1～2週間前程度です。詳細は問い合わせ先にご確認ください。

【その他の入学諸費用の支援制度】

教育ローンの他にも、以下のような支援制度があります。詳細は各問い合わせ先にご確認ください。

生活福祉資金貸付制度（厚生労働省）

問い合わせ先：お住まいの市区町村の社会福祉協議会

母子父子寡婦福祉資金貸付金（子ども家庭庁）

問い合わせ先：お住まいの市区町村の福祉担当窓口

なお、入学後の奨学金については、本学ホームページをご覧ください。教育ローンのように、入学前に事前に本学で手続可能なもの（給付・貸付両方）はございませんので、あらかじめご了承ください。

・ウェブサイト：https://www.toyo.ac.jp/campuslife/student_support/award/gakubu/

※高等教育の修学支援新制度については、該当ページをご確認ください。

キャンパス案内図

入学試験は、本学の各キャンパスにて実施します。
「試験科目[配点]・試験会場」のページで、自身の受験する試験会場を確認してください。
各キャンパスの所在地および試験当日の開門時間は以下のとおりです。

試験会場	開門時間
白山キャンパス	8:10
赤羽台キャンパス	
川越キャンパス	
朝霞キャンパス	

※入試方式によっては、その入試では試験会場とならないキャンパスがあります。
※掲載している地図は2026年4月現在のものです。建物名称等が変更される場合があります。

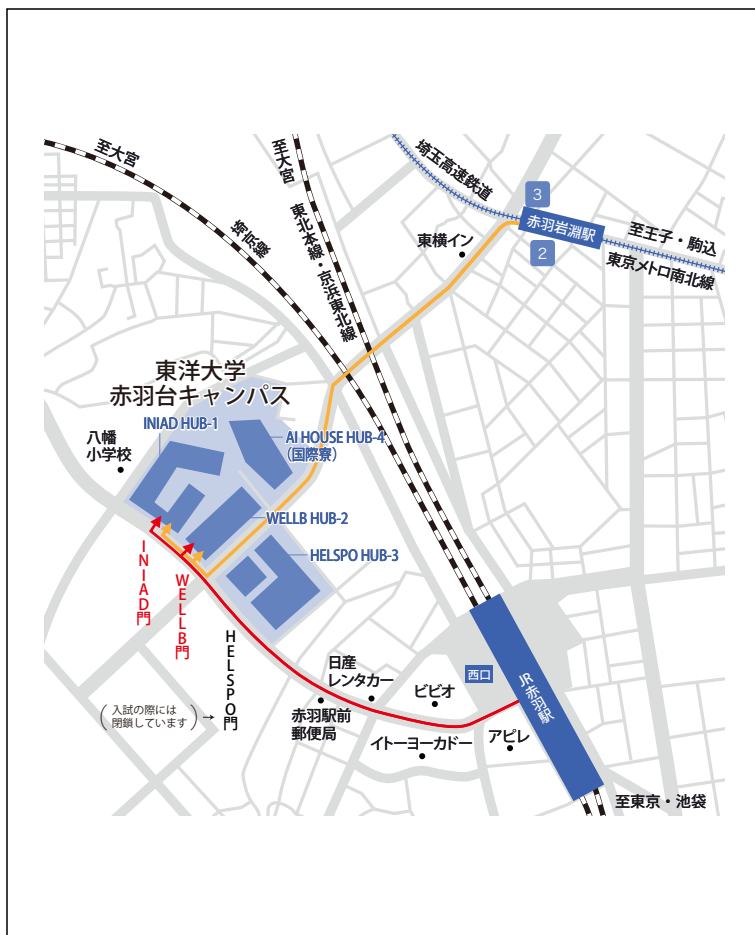


白山キャンパス

〒112-8606 東京都文京区白山 5-28-20

[交通案内]

- 都営地下鉄三田線「白山」駅下車、A3出口より徒歩5分
- 都営地下鉄三田線「千石」駅下車、A1出口より徒歩8分
- 東京メトロ南北線「本駒込」駅下車、1番出口より徒歩5分



赤羽台キャンパス

〒115-8650 東京都北区赤羽台1-7-11

[交通案内]

- JR
「赤羽」駅下車、西口より徒歩8分
- 東京メトロ南北線 / 埼玉高速鉄道線
「赤羽岩淵」駅下車、2番出口より徒歩12分



川越キャンパス

〒350-8585 埼玉県川越市鯨井2100

[交通案内]

- 東武東上線
「鶴ヶ島」駅下車、東口より徒歩10分



朝霞キャンパス

〒351-8510 埼玉県朝霞市岡 48-1

[交通案内]

- 東武東上線
「朝霞台」駅下車、北口より徒歩10分
- JR 武蔵野線
「北朝霞」駅下車、東口より徒歩10分

問い合わせ先

1. 入学試験に関すること

東洋大学入試部

<https://www.toyo.ac.jp/nyushi/support/>

お急ぎのお問い合わせは

TEL 03-3945-7272 (直通)

9:30～13:00 14:00～16:45 (月～金曜日)

9:30～12:45 (土曜日)



2. 納付金および納付金の返還に関すること

東洋大学経理部財務課

<https://sites.google.com/toyo.jp/gakuhi/inquiry-fees>



3. 在留資格、ビザ (査証) 等に関すること

東洋大学在留資格サポートオフィス

E-mail toyo-pugs@tugs.co.jp

※事務取扱日時は変更になる場合があります。

※入学手続に関しては、入学手続サイトに掲載される「入学手続のしおり」に記載の各学部教務課窓口にお問い合わせください。

既修得単位の取扱い

文 学 部

● 3年次への編入学・転入学の場合 (第1部・第2部)

- ① 編入学・転入学前の他大学等で修得した単位のうち、62単位を上限に本学文学部において修得したものとみなし、単位を認定します。
- ② 編入学・転入学前に他大学等で修得した単位は、本学文学部の学科教育課程表の「科目名称・講義内容・単位数等」に基づき、全学基盤教育科目、全学共通教育科目、文学部横断科目 (外国語科目を除く) 等で修得したものとして原則一括認定を行います。
- ③ 編入学・転入学後は、各学科の履修指導に従って、卒業要件を満たすために不足単位を修得します。ただし、単位認定状況によっては、入学後2年間で卒業要件を満たせず、卒業が延びる場合があります。

科目区分 単位数	全学基盤教育科目	全学共通教育科目	文学部横断科目	専門教育科目	合計
	「哲学・自校教育」 「国際」「キャリア」	「人文科学」「社会科学」 「自然科学」 「スポーツ・健康・福祉」 「総合・学際・観光」	「文学部他学科開放科目」 「外国語科目」 「諸資格関連科目」 「キャリア教育」		
卒業要件	4単位 ※「哲学・自校教育」 から2単位を含む	8～12単位以上	16～20単位以上	70～88単位	124単位以上
		第 2 部日本文学文化学科のみ 合計34単位以上			
編入学・転入学時認定単位数	認定単位数が異なります。				62単位以内
入学後卒業必要単位数	上記の認定単位数により異なります。				62単位以上

● 2年次への転入学の場合 (第1部・第2部)

- ① 転入学前の他大学等で修得した単位のうち、32単位を上限に本学文学部において修得したものとみなし、単位を認定します。
- ② 転入学前に他大学等で修得した単位は、本学文学部の学科教育課程表の「科目名称・講義内容・単位数等」に基づき、全学基盤教育科目、全学共通教育科目、文学部横断科目 (外国語科目を除く) 等で修得したものとして原則一括認定を行います。
- ③ 転入学後は、各学科の履修指導に従って、卒業要件を満たすために不足単位を修得します。ただし、単位認定状況によっては、入学後3年間で卒業要件を満たせず、卒業が延びる場合があります。

科目区分 単位数	全学基盤教育科目	全学共通教育科目	文学部横断科目	専門教育科目	合計
	「哲学・自校教育」 「国際」「キャリア」	「人文科学」「社会科学」 「自然科学」 「スポーツ・健康・福祉」 「総合・学際・観光」	「文学部他学科開放科目」 「外国語科目」 「諸資格関連科目」 「キャリア教育」		
卒業要件	4単位 ※「哲学・自校教育」 から2単位を含む	8～12単位以上	16～20単位以上	70～88単位	124単位以上
		第2部日本文学文化学科のみ 合計34単位以上			
編入学・転入学時認定単位数	認定単位数が異なります。				32単位以内
入学後卒業必要単位数	上記の認定単位数により異なります。				92単位以上

● 入学手続後の書類提出について

原則、一括認定による単位認定を行います。編入学・転入学前に他大学等で修得した単位のうち、単位の個別認定を希望する科目がある場合のみ、対応するシラバスのコピー (実際に受講した年度のもの、および受講した内容がわかるもの) を提出していただきます。

その場合、科目の内容・学修時間・単位数等を本学開講科目と照合し、合致すると判断された場合に限り個別認定を行います (一部の教職関連科目を除く)。ただし、希望した科目について個別認定された場合、本学在学中でのその科目の履修・単位修得は出来ませんのでご注意ください。

なお、特に個別認定を希望する科目がない場合には、シラバスのコピーの提出は不要です。

なお、入学後に教育職員免許状をはじめとする諸資格の取得を目指す場合にも、別途書類を提出していただきます。

それぞれ提出する書類・期日等の詳細は1月末頃までに新入生サイト内にてお知らせしますので、必ずご確認ください。

経 済 学 部

<受入年次について>

編入学	3年次(第1部・第2部 全学科)
転入学	3年次(第1部・第2部 全学科)
	2年次(第1部・第2部 全学科)
社会人編入学(第2部)	3年次(第2部経済学科)
社会人転入学(第2部)	3年次(第2部経済学科)

<既修得単位の認定について>

● 3年次への編入学・転入学の場合

- ① 編入学・転入学前の大学等で修得した単位のうち、62単位を上限に本学経済学部において修得したものとみなし、単位を認定します。
- ② 編入学・転入学前に修得した科目が、本学経済学部の学科教育課程表の科目に合致すると判断された場合は、修得した科目と本学の科目を対応させて科目ごとに個別に認定します。ただし、本学の科目として個別に認定できない科目は、科目分野ごとに単位数をまとめて一括で認定します。
- ③ 編入学・転入学後は、認定単位数、学科の履修指導に従って、卒業要件を満たすために不足単位を修得します。単位認定状況によっては、入学後2年間で卒業要件を満たせず、卒業が延びる場合があります。

● 2年次への転入学の場合

- ① 転入学前の大学等で修得した単位のうち、32単位を上限に本学経済学部において修得したものとみなし、単位を認定します。
- ② 編入学・転入学前に修得した科目が、本学経済学部の学科教育課程表の科目に合致すると判断された場合は、修得した科目と本学の科目を対応させて科目ごとに個別に認定します。ただし、本学の科目として個別に認定できない科目は、科目分野ごとに単位数をまとめて一括で認定します。
- ③ 転入学後は、認定単位数、学科の履修指導に従って、卒業要件を満たすために不足単位を修得します。単位認定状況によっては、入学後3年間で卒業要件を満たせず、卒業が延びる場合があります。

● シラバスのコピーの提出

単位を認定するにあたり、編入学・転入学前に修得したすべての科目のシラバスのコピー（講義内容がわかるもの、日本語・英語以外の場合は日本語訳または英語訳を添付）を入学手続完了後に提出していただきます。あらかじめ用意しておいてください。

<卒業要件について>

下記の表は、各学科の卒業要件単位数です。

編入学・転入学後は、卒業要件を満たすために不足単位を修得してください。

※ なお、科目分類および卒業要件の詳細は、各学科教育課程表等を参照してください。

4年次の履修・修得条件など卒業に必要な事項が記載されています。必ず入学後に詳細を確認してください。

授業科目 区分 学科	専門教育科目				全学基盤教育科目	全学共通教育科目	教職科目	卒業必要 単位数 (左記の各条件を含む)
	経済			語学	「哲学・自校教育」 「国際」「キャリア」	「人文科学」「社会科学」 「自然科学」 「スポーツ・健康・福祉」 「総合・学際・観光」		
	「経済」 必修科目	選択科目A	選択科目B					
第1部 経済	20単位	54単位 (3・4年次配当 科目36単位 必須を含む)		「語学」必修 科目8単位	4単位 ※「哲学・思想」から 2単位を含む	10単位		124単位
国際経済	76単位			「語学」必修 科目8単位 および「語 学」選択必修 科目6単位	4単位 ※「哲学・思想」から 2単位を含む	10単位		124単位
	4単位	56単位 (選択必修科目 16単位を含む)						
総合政策	84単位			「語学」必修 科目8単位	4単位 ※「哲学・思想」から 2単位を含む	10単位		124単位
	36単位	38単位 (選択必修科目 6単位を含む)						
第2部 経済	72単位				4単位 ※「哲学・思想」から 2単位を含む	10単位		124単位
	8単位	46単位 (選択必修科目 10単位を含む)						

経 営 学 部

● 2年次への社会人転入学の場合(第2部のみ)

- ① 転入学前の大学等において1年次に32単位を修得したものとみなし、学科の履修条件に従って92単位以上修得すれば、卒業の要件を満たしたものととして取り扱います。

※一括認定した既修得単位に対する授業科目の特定は行いません。

- ② 修得したとみなす単位は以下の区分のとおり一括認定します。

- ・全学基盤教育科目 8単位
- ・全学共通教育科目 24単位

- ③ 卒業に必要な単位として履修かつ修得しなければならない単位数は以下の表のとおりとなります。

区分 単位数	全学基盤教育科目		全学共通教育科目	専門教育科目			合計
	哲学・自校教育	計	計	基礎	選択	計	
卒業要件	2単位以上	4単位以上	10単位以上	6単位以上	78単位以上	84単位以上	124単位
既修得単位		8単位	24単位				32単位
必要修得単位	2単位以上			6単位以上	78単位以上	84単位以上	92単位

● 3年次への社会人編入学・転入学の場合(第2部のみ)

- ① 編入学・転入学前の大学等において1・2年次に62単位を修得したものとみなし、学科の履修条件に従って62単位以上修得すれば、卒業の要件を満たしたものととして取り扱います。

※一括認定した既修得単位に対応する授業科目の特定は行いません。

- ② 修得したとみなす単位は以下の区分のとおり一括認定します。

- ・全学基盤教育科目 8単位
- ・全学共通教育科目 30単位
- ・専門教育科目(選択) 24単位

- ③ 卒業に必要な単位として履修かつ修得しなければならない単位数は以下の表のとおりとなります。

区分 単位数	全学基盤教育科目		全学共通教育科目	専門教育科目			合計
	哲学・自校教育	計	計	基礎	選択	計	
卒業要件	2単位以上	4単位以上	10単位以上	6単位以上	78単位以上	84単位以上	124単位
既修得単位		8単位	30単位		24単位	24単位	62単位
必要修得単位	2単位以上			6単位以上	54単位以上	60単位以上	62単位

法 学 部

① 既修得単位の認定について

- 編入学・転入学前の大学等で修得した単位は、その既修得科目の名称にとらわれず、本学法学部の学科課程表の「科目名称・講義内容・単位数等」に基づき、下記の要領で本学において修得した単位とみなして認定します。
- 専門科目の必修科目、語学科目の必修科目については、個別の科目で認定します。
個別科目認定以外は、一括認定単位として認定します。
- 編入学・転入学後は、卒業要件を満たすために不足単位を修得してください。

	認定単位	授業科目 区分 学科	専門教育科目			哲学・自校 教育科目※	全学基盤教育科目	全学共通教育科目	語学科目	
			必修 科目	選択 必修科目	選択 科目		「哲学・自校教育」 「国際」「キャリア」	「人文科学」「社会科学」 「自然科学」 「スポーツ・健康・福祉」 「総合・学際・観光」	必修 科目	選択 必修科目
2 年次 転入学	32単位 以内	第1部 法律学科	12単位	4単位	0単位	0単位	2単位	6単位	2単位	6単位
		企業法学科	8単位	A群 4単位	0単位	0単位	2単位	10単位	2単位	6単位
		第2部 法律学科	8単位	8単位	0単位	0単位	4単位	12単位	区分なし	区分なし
3 年次 編入学・ 転入学	62単位 以内	第1部 法律学科	16単位	16単位	0単位	0単位	6単位	14単位	2単位	8単位
		企業法学科	12単位	A群 20単位	0単位	0単位	6単位	14単位	2単位	8単位
		第2部 法律学科	8単位	12単位	12単位	0単位	10単位	20単位	区分なし	区分なし

※必修の哲学・自校教育科目「井上円了と建学の精神」は入学後に修得が必要です。

② 卒業要件について

本学法学部の卒業に必要な単位数は下記の表のとおりです。

授業科目 区分 学科	専門教育科目			哲学・ 自校教育 科目	全学基盤教育科目	全学共通教育科目	語学科目	卒業必要単位数 (左記の各条件を含む)
	必修 科目	選択 必修科目	選択 科目		「哲学・自校教育」 「国際」 「キャリア」	「人文科学」 「社会科学」 「自然科学」 「スポーツ・健康・福祉」 「総合・学際・観光」	「語学」	
第1部 法律学科	72単位以上			2単位	16単位以上		10単位以上	124単位以上
	16単位	32単位以上			4単位以上	10単位以上	必修科目2単位、 選択必修科目 8単位以上	
企業法学科	72単位以上			2単位	16単位以上		10単位以上	124単位以上
	12単位	40単位以上 (選択必修B群から 8単位以上を含む)			4単位以上	10単位以上	必修科目2単位、 選択必修科目 8単位以上	
第2部 法律学科	72単位以上			2単位	26単位以上			124単位以上
	8単位	12単位以上			4単位以上	10単位以上		

社 会 学 部

既修得単位の取り扱いについて

編入学・転入学前の大学(短大)等において修得した単位は、下記の要領で認定され、東洋大学社会学部で1・2年次(2年次転入の場合は1年次)までに修得したものとみなします。

【第1部】

●3年次への編入学・転入学の場合

《社会学科》

全学共通教育科目10単位、全学基盤教育科目4単位、学科専門科目36単位、学部共通科目12単位を原則個別認定(最大62単位を認定)

※1年次配当の学科専門科目の必修科目は個別の科目名で認定

※本学の科目として個別に認定できない科目は、科目分野ごとに単位数をまとめて一括認定します。

《メディアコミュニケーション学科》・《社会心理学科》

全学共通教育科目10単位、全学基盤教育科目4単位、学科専門科目+学部共通科目36単位、学部共通科目12単位を原則一括認定(最大62単位を認定)

※必修科目の一部は個別の科目名で認定

●2年次への転入学の場合

《社会学科》

全学共通教育科目10単位、学科専門科目10単位、学部共通科目12単位を原則個別認定(最大32単位を認定)

※本学の科目として個別に認定できない科目は、科目分野ごとに単位数をまとめて一括認定します。

《メディアコミュニケーション学科》・《社会心理学科》

全学共通教育科目10単位、学科専門科目10単位、学部共通科目(選択必修)12単位を原則一括認定(最大32単位を認定)

※必修科目の一部は個別の科目名で認定

卒業に必要な単位数について

社会学部 第1部						
科目区分			学 科	社会	メディア コミュニケーション	社会心理
全学基盤教育 科目	哲学・自校教育			2単位		
	国際					
	キャリア					
全学基盤教育科目				4単位		
全学共通教育 科目	人文科学					
	社会科学					
	自然科学					
	スポーツ・健康・福祉					
	総合・学際・観光					
全学共通教育科目				10単位		
専門教育 科目	語学科目	カレント・イングリッシュ		4単位		
		英語		6単位 〔母語を除く〕 1言語を選択〕		
		ドイツ語				
		フランス語				
		中国語				
		ハングル				
		日本語				
		選択科目				
	語学科目			10単位		
	学科専門 科目	必修科目		30単位	26単位	32単位
		選択必修	A	4単位	34単位	6単位
			B	8単位		20単位
			C	12単位		
			D			
		選択科目				
	学科専門科目 小計			66単位	60単位	60単位
	学部共通 科目	必修科目		8単位		
		選択必修科目		12単位		
	学部共通科目 小計			20単位	20単位	20単位
専門教育科目				96単位	94単位	94単位
教職科目(卒業単位に算入可)						
第1部・第2部相互聴講科目						
計				124単位		

シラバスのコピー提出

社会学科では単位を認定をするにあたり、編入学・転入学前に修得したすべての科目のシラバスのコピー（講義内容がわかるもの）を入学手続完了後に提出していただきます。あらかじめ用意しておいてください。

公認心理師の資格について

社会学部社会心理学科に編入学・転入学された場合、公認心理師試験の受験資格を満たすことはできません。

【第2部】

●3年次への編入学・転入学の場合

全学共通教育科目10単位、全学基盤教育科目4単位、学科専門科目48単位を原則一括認定（最大62単位を認定）

※必修科目の一部は個別の科目名で認定

●2年次への転入学の場合

全学共通教育科目10単位、学科専門科目22単位を原則一括認定（最大32単位を認定）

※必修科目の一部は個別の科目名で認定

卒業に必要な単位数について

社会学部 第2部				
科目区分		学 科	社会	
全学基盤教育科目	哲学・自校教育		2単位	
	国際			
	キャリア			
全学基盤教育科目			4単位	
全学共通教育科目	人文科学			
	社会科学			
	自然科学			
	スポーツ・健康・福祉			
	総合・学際・観光			
全学共通教育科目			10単位	
専門教育科目	語学科目	カレント・イングリッシュ		
		ドイツ語		
		フランス語		
		中国語		
		ハングル		
	学科専門科目	必修科目		24単位
		選択必修科目	A	2単位
			B	12単位
		選択科目		
	学科専門科目 小計			60単位
専門教育科目			66単位	
教職科目(卒業単位に算入可)				
第1部・第2部相互聴講科目				
計			124単位	

● 2年次への編入学・転入学の場合

- ① 編入学・転入学前の大学等で修得した単位のうち、32単位までを本学国際学部において修得したものとみなし、単位を認定します。
- ② 編入学・転入学前に修得した科目が、本学国際学部の学科教育課程表の「科目名称・講義内容・単位数等」に合致すると判断された場合は、修得した科目と本学の科目を対応させて科目ごとに個別に認定します。
ただし、本学の科目として個別に認定できない科目は、科目分野ごとに単位数をまとめて一括で認定します。
- ③ 編入学・転入学後は、認定単位数、学科の履修指導に従って、卒業関係科目着手条件・卒業要件を満たすために不足単位を修得します。

● 3年次への編入学・転入学の場合

- ① 編入学・転入学前の大学等で修得した単位のうち、62単位までを本学国際学部において修得したものとみなし、単位を認定します。
- ② 編入学・転入学前に修得した科目が、本学国際学部の学科教育課程表の「科目名称・講義内容・単位数等」に合致すると判断された場合は、修得した科目と本学の科目を対応させて科目ごとに個別に認定します。
ただし、本学の科目として個別に認定できない科目は、科目分野ごとに単位数をまとめて一括で認定します。
- ③ 編入学・転入学後は、認定単位数、学科の履修指導に従って、卒業関係科目着手条件・卒業要件を満たすために不足単位を修得します。

● シラバスのコピーの提出

単位を認定するにあたり、編入学・転入学前に修得したすべての科目のシラバスのコピー（講義内容がわかるもの）を入学手続完了後に提出していただきます。あらかじめ用意しておいてください。

また、出願書類と別途に卒業証明書（退学証明書）・成績証明書（2027年1月以降発行）をシラバスとともにご提出いただきます。

● 2年次への編入学・転入学の場合（2025年度以降入学生向けカリキュラム）

国際学部 グローバル・イノベーション学科 卒業要件			
科目区分 Subject Category		一般学生 Domestic Students	留学生 International Students
卒業要件単位 Graduation requirement credits		124 credits	
Study Skills	Basic Study Skills	10 credits	
	Advanced Study Skills	—	
	Communication Skills	—	
	English Language Skills	28 credits	—
	Second Foreign Language Skills	—	
	Japanese Language Skills		—
Academic Subjects	Global Entrepreneurship	44 credits	
	Global Business		
	Global Collaboration		
	Regional Development Studies	—	
Project Studies		—	

● 2 年次への転入学・3 年次への編入学・転入学の場合（2025 年度以降入学生向けカリキュラム）

国際学部 国際地域学科地域総合専攻 卒業要件					
科目区分					必要単位数
卒業要件単位					124 単位
Study Skills	Basic Academic Skills		必修	4 単位	
	Advanced Academic Skills		選択	—	
	Language and Communication Skills	English	必修	4 単位	
		Second Foreign Language	選択必修	4 単位	
		Language and Communication	選択必修	2 単位	
Academic Subject					40 単位
	国際関係・開発政策領域		選択必修	10 単位	
	比較文化領域				
	コミュニティ・地域政策領域				
	環境・情報・インフラ領域				
	総合経済系科目		選択	—	
国際地域共通					
Project Study					—
全学基盤教育科目				4 単位	
	哲学・自校教育		選択必修	2 単位	
全学共通教育科目					4 単位

既修得単位の取り扱いについて

編入学・転入学前の大学、高等専門学校等において修得した単位は、原則、下記の要領で認定されます。

入学年次	認定方法	認められる単位数
3年次	原則一括認定	62単位
2年次	原則一括認定	32単位

※1 各科目区分の認定単位数は、入学者のそれまでの学修状況により変更する可能性があります。

※2 カリキュラムは、本学ホームページの情報連携学部ページをご確認ください。

※3 社会人編入学・転入学の取り扱いについては、赤羽台事務課までお問い合わせください。

理 工 学 部

2年次への編入学・転入学の場合

- ① 編入学・転入学前の大学等で修得した単位のうち、32単位までを本学理工学部において修得したものとみなし、単位を認定します。
- ② 編入学・転入学前に修得した科目が、本学理工学部の学科教育課程表の「科目名称・講義内容・単位数等」に合致すると判断された場合は、修得した科目と本学の科目を対応させて科目ごとに個別に認定します。
ただし、本学の科目として個別に認定できない科目は、科目分野ごとに単位数をまとめて一括で認定します。
- ③ 編入学・転入学後は、認定単位数、各学科の履修指導に従って、卒業関係科目着手条件・卒業要件を満たすために不足単位を修得します。

2025年度以降入学生用 卒業条件単位数

区分 学科	全学基盤教育				全学共通教育						理工学基盤科目							専門科目				他学部他学科専門科目	合 計
	哲学・自校教育	国際	キャリア	小計	人文科学	社会科学	自然科学	スポーツ・健康・福祉	総合・学際・観光	小計	数学	物理学	化学	生物学	地学	情報処理	小計	必修	選択必修	選択	小計		
機 械 工 学 科	2	8		12						10	9	6	2			1	20	15	24		70		124
電 気 電 子 情 報 工 学 科	2	8		12						10	6	6					19	28	16		74		124
応 用 化 学 科	2	8		12						10	4	4	6				18	28	—		74		124
都市環境デザイン学科	2	8		12						10	6	2	2				20	23	—		70		124
建 築 学 科	2	8		12						10	6	4					16	21	4		70		124

2025年度以降入学生用 卒業関係科目着手条件単位数

区分 学科	全学基盤教育				全学共通教育						理工学基盤科目							専門科目				他学部他学科専門科目	合 計
	哲学・自校教育	国際	キャリア	小計	人文科学	社会科学	自然科学	スポーツ・健康・福祉	総合・学際・観光	小計	数学	物理学	化学	生物学	地学	情報処理	小計	必修	選択必修	選択	小計		
機 械 工 学 科		6		10						10	9	6	2			1	20	7	24		53		104
電 気 電 子 情 報 工 学 科		6		10						10	6	6					19	20	14		56		104
応 用 化 学 科		6		10						10	4	4	6				18	18	—		62		104
都市環境デザイン学科		6		10						10	6	2	2				20	15	—		60		104
建 築 学 科		6		10						10	6	4					16	12			50		104

※ 卒業関係科目着手条件単位数とは、最終学年に必ず履修・修得する必要がある卒業関係科目を履修するために修得しておかなければならない条件単位数となります。

シラバスのコピーの提出

単位を認定するにあたり、編入学・転入学前に修得したすべての科目のシラバスのコピー（講義内容がわかる日本語か英語で記載されているもの）を入学手続完了後に提出していただきます。あらかじめ用意しておいてください。

総合情報学部

2年次への編入学・転入学の場合

- ① 編入学・転入学前の大学等で修得した単位のうち、32単位までを本学総合情報学部において修得したものとみなし、単位を認定します。
- ② 編入学・転入学前に修得した科目が、本学総合情報学部の学科教育課程表の「科目名称・講義内容・単位数等」に合致すると判断された場合は、修得した科目と本学の科目を対応させて科目ごとに個別に認定します。
ただし、本学の科目として個別に認定できない科目は、科目分野ごとに単位数をまとめて一括で認定します。
- ③ 編入学・転入学後は、認定単位数、学科の履修指導に従って、卒業関係科目着手条件・卒業要件を満たすために不足単位を修得します。

卒業条件単位数

区分	全学基盤教育				全学共通教育						小計	専門科目					他学部他学科専門科目	合計
	哲学・自校教育	国際	キャリア	小計	人文科学	社会科学	自然科学	スポーツ・健康・福祉	総合・学際・観光	小計		必修	メディア情報専攻	心理・スポーツ情報専攻	システム情報専攻	小計		
メディア情報専攻	2	8※		12						10	22	20	36			68		124
心理・スポーツ情報専攻	2	8※		12						10	22	20		36		68		124
システム情報専攻	2	8※		12						10	22	20			36	68		124

※ 外国語必修6単位、外国語選択必修2単位

●卒業関係科目着手条件

4年次の必修科目「総合情報学演習Ⅴ」「総合情報学演習Ⅵ」「卒業研究・制作Ⅰ」「卒業研究・制作Ⅱ」を履修するために定める条件単位数

区分	全学基盤教育				全学共通教育						小計	専門科目					他学部他学科専門科目	合計
	哲学・自校教育	国際	キャリア	小計	人文科学	社会科学	自然科学	スポーツ・健康・福祉	総合・学際・観光	小計		必修	メディア情報専攻	心理・スポーツ情報専攻	システム情報専攻	小計		
メディア情報専攻												10	30			40		92
心理・スポーツ情報専攻												10		30		40		92
システム情報専攻												10			30	40		92

シラバスのコピーの提出

単位を認定するにあたり、編入学・転入学前に修得したすべての科目のシラバスのコピー（講義内容がわかる日本語か英語で記載されているもの）を入学手続完了後に提出していただきます。あらかじめ用意しておいてください。

生 命 科 学 部

2年次への編入学・転入学

- ① 編入学・転入学前の学校で修得した単位のうち、32単位までを本学生命科学部において1年次に修得したものとみなし、単位を認定します。
- ② 編入学・転入学前に修得した科目が、本学生命科学部の学科教育課程表の「科目名称・講義内容・単位数等」に合致すると判断された場合は、修得した科目と本学の科目を対応させて科目ごとに個別に認定します。
ただし、本学の科目として個別に認定できない科目は、科目分野ごとに単位数をまとめて一括で認定します。
- ③ 編入学・転入学後は、認定単位数、各学科の履修指導に従って、卒業論文着手条件・卒業要件を満たすために不足単位を修得します。

2024年度以降入学生用 卒業要件単位数

区分 学科	基盤教育科目									専門教育科目					合計		
	哲学・思想	学問の基礎			国際人の形成			キャリア・市民形成	健康・スポーツ科学	総合・学際	小計	必修	学科共通選択必修	コース選択必修		選択	小計
		人文科学	社会科学	自然科学	世界の伝統と文化	グローバル社会の実際	語学										
生 命 科 学 科	4	4					6※1				24	48		16		90	124
生 物 資 源 学 科	4	4					6※1				24	46	5	12		90	124

2024年度以降入学生用 卒業論文着手条件単位数^{※2}

区分 学科	基盤教育科目										専門科目					合計	
	哲学・思想	学問の基礎			国際人の形成			キャリア・市民形成	健康・スポーツ科学	総合・学際	小計	必修	学科共通選択必修	コース選択必修	選択		小計
		人文科学	社会科学	自然科学	世界の伝統と文化	グローバル社会の実際	語学										
生 命 科 学 科	4	4					6※1				24	34		16		74	110
生 物 資 源 学 科	4	4					6※1				24	32	5	12		74	110

※1…必修科目であること

※2…卒業論文着手条件単位数とは、最終学年に必ず履修・修得する必要がある卒業関係科目を履修するために修得しておかなければならない条件単位数となります。

シラバスのコピーの提出

単位を認定するにあたり、編入学・転入学前に修得したすべての科目のシラバスのコピー（講義内容がわかる日本語または英語で記載されているもの）を入学手続完了後に提出していただきます。あらかじめ用意しておいてください。

食 環 境 科 学 部

2年次への編入学・転入学

- ① 編入学・転入学前の大学等で修得した単位のうち、32単位までを本学食環境科学部において修得したものとみなし、単位を認定します。
- ② 編入学・転入学前に修得した科目が、本学食環境科学部の学科教育課程表の「科目名称・講義内容・単位数等」に合致すると判断された場合は、修得した科目と本学の科目を対応させて科目ごとに個別に認定します。
ただし、本学の科目として個別に認定できない科目は、科目分野ごとに単位数をまとめて一括で認定します。
- ③ 編入学・転入学後は、認定単位数、各学科の履修指導に従って、卒業論文着手条件・卒業要件を満たすために不足単位を修得します。

2024年度以降入学生用 卒業要件単位数

区分 学科	基盤教育科目										専門教育科目				合計	
	哲学・思想	学問の基礎			国際人の形成			キャリア・市民形成	健康・スポーツ科学	総合・学際	小計	必修	選択必修	選択		小計
		人文科学	社会科学	自然科学	世界の伝統と文化	グローバル社会の実際	語学									
食 環 境 科 学 科	4	4					8 ^{※1}				24	57	22		90	124
フードデータサイエンス学科	4	4					8 ^{※1}				24	48	20		90	124

2024年度以降入学生用 卒業論文着手条件単位数^{※2}

区分 学科	基盤教育科目										専門科目			合計	
	哲学・思想	学問の基礎			国際人の形成			キャリア・市民形成	健康・スポーツ科学	総合・学際	小計	必修	選択必修		選択
		人文科学	社会科学	自然科学	世界の伝統と文化	グローバル社会の実際	語学								
食 環 境 科 学 科	4	4					8 ^{※1}				24	45 ^{※3}	22		105
フードデータサイエンス学科	4	4					8 ^{※1}				24	12 ^{※4}			105

※1…必修科目であること

※2…卒業論文着手条件単位数とは、最終学年に必ず履修・修得する必要がある卒業関係科目を履修するために修得しておかなければならない条件単位数となります。

※3…実験・実習科目9単位、研究室演習を含む45単位以上

※4…「フードデータ分析基礎演習Ⅰ」「フードデータ分析基礎演習Ⅱ」「フードデータ分析実習Ⅰ」「フードデータ分析実習Ⅱ」「フードデータ分析演習Ⅰ」「フードデータ分析演習Ⅱ」の12単位を修得すること

シラバスのコピーの提出

単位を認定するにあたり、編入学・転入学前に修得したすべての科目のシラバスのコピー（講義内容がわかる日本語または英語で記載されているもの）を入学手続完了後に提出していただきます。あらかじめ用意しておいてください。

既修得単位の取扱いに関する問い合わせ先

問い合わせ先		電話番号	取扱時間
文学部	文学部教務課	03-3945-8544	10:00～13:00、14:00～17:00 (月～金曜日) 10:00～12:45 (土曜日)
経済学部	経済学部教務課	03-3945-8423	
経営学部	経営学部教務課	03-3945-7247	
法学部	法学部教務課	03-3945-8547	
社会学部	社会学部教務課	03-3945-7623	
国際学部	国際学部教務課	03-3945-4377	
情報連携学部	赤羽台事務課	03-5924-2600	9:30～13:00、14:00～16:45 (月～金曜日)
理工学部	川越事務課	049-239-1482	9:30～13:00、14:00～16:45 (月～金曜日) 9:30～12:45 (土曜日)
総合情報学部			
生命科学部	朝霞事務課	048-468-6311	9:30～13:00、14:00～16:45 (月～金曜日)
食環境科学部			

※窓口取扱日時の詳細については大学ホームページをご確認ください。

2026年度 編入学・転入学 / 社会人編入学・社会人転入学試験 結果表

学部		学科	志願者数					合格者数				
			3 年次		2 年次			3 年次		2 年次		
			編転入学	社会人編入学 転入学	編入学	転入学	社会人編入学 転入学	編転入学	社会人編入学 転入学	編入学	転入学	社会人編入学 転入学
第1部 (昼)	文	哲										
		東 洋 思 想 文 化										
		日 本 文 学 文 化	1			1						
		英 米 文	4									
		史	1			1						
		教 育 (人 間 発 達)	3			2		1				
		国際文化コミュニケーション	1									
	経済	経 済	9					2				
		国 際 経 済	2					1				
		総 合 政 策	1					1				
	法	法 律	2			4					2	
		企 業 法										
	社会	社 会	4			2		3			1	
		メディアコミュニケーション	1			1						
		社 会 心 理	5			2						
	国際	グローバル・イノベーション				1					1	
	情報連携	情 報 連 携				4						
	理工	機 械 工										
		電 気 電 子 情 報 工										
		応 用 化										
		都 市 環 境 デ ザ イ ン										
		建 築										
	総合情報	総合情報(メディア情報)				1					1	
		総合情報(心理・スポーツ)										
		総合情報(システム情報)										
	生命科	生 命 科				1					1	
		生 物 資 源										
	食環境科	食 環 境 科										
		フードデータサイエンス										
第2部 (夜)	文	東 洋 思 想 文 化		3					2			
		日 本 文 学 文 化		1								
		教 育										
	経済	経 済										
	経営	経 営		3					2			
	法	法 律		1					1			
	社会	社 会	1	2		1			1			
	国際	国際地域(地域総合)										
合計			35	10	0	21	0	8	6	0	6	0

※上記以外の学部・学科(専攻)では、昨年度編入学・転入学試験を実施していません。

編入学・転入学試験 / 社会人編入学・社会人転入学試験
履歴書 別紙

受験番号	※
------	---

フリガナ		
氏 名	姓	名

1/2

[illegible]

東洋大学

編入学・転入学試験 / 社会人編入学・社会人転入学試験
履歴書 別紙

受験番号	※
------	---

フリガナ		
氏 名	姓	名

2/2

[illegible]

東洋大学

受験番号

※

※は記入しないでください。

大学編入学資格証明書

2026年 月 日

東洋大学長殿

専修学校名

学 校 長 名

公印

所 在 地

次の者は、学校教育法第132条に定める大学編入学受験資格（専門課程の修業年限が2年以上で且つ課程の修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上であること）を有することを証明致します。

記

フリガナ

氏 名

生 年 月 日 年 月 日

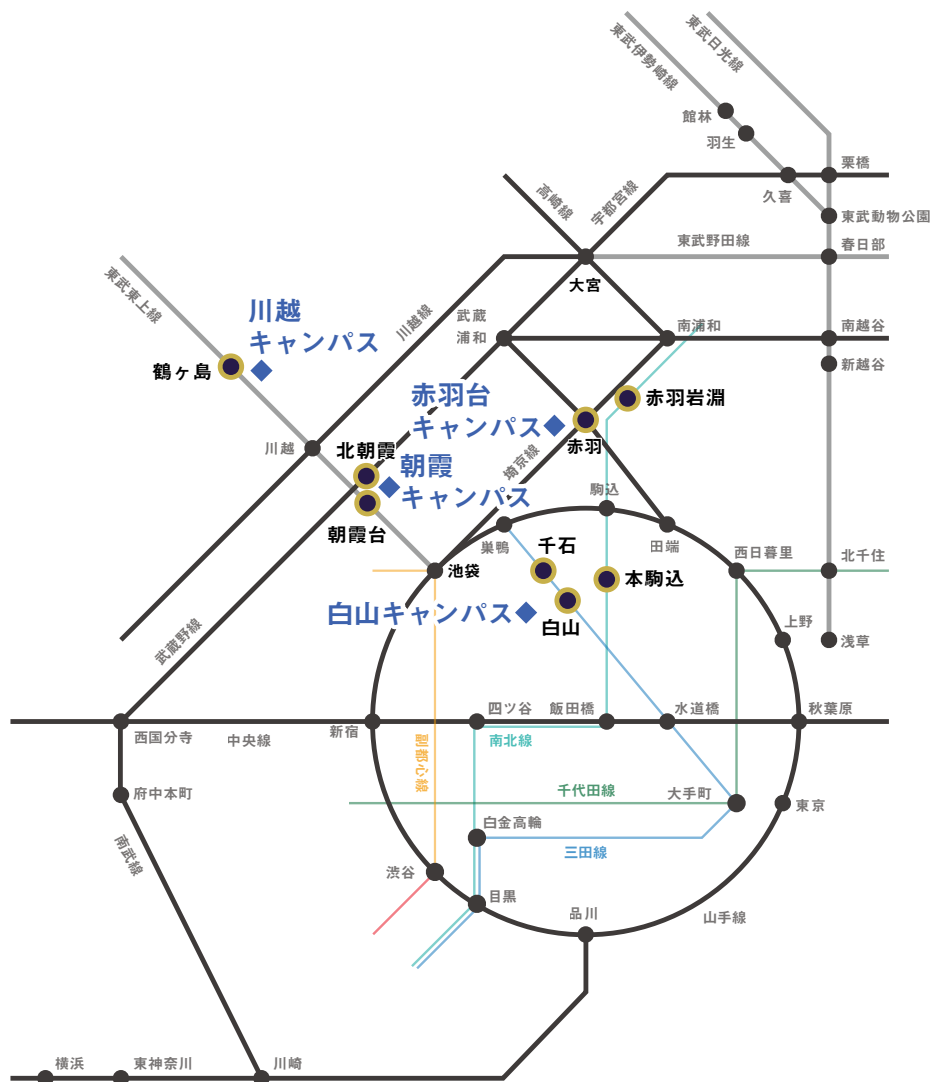
専修学校名

学 科 名

専門課程

入 学 年 月 年 月 日

卒業・修了(見込) 年 月 日



交 通 案 内

白山キャンパス

- 都営地下鉄三田線
「白山」駅下車、A3出口より徒歩5分
- 都営地下鉄三田線
「千石」駅下車、A1出口より徒歩8分
- 東京メトロ南北線
「本駒込」駅下車、1番出口より徒歩5分

赤羽台キャンパス

- JR
「赤羽」駅下車、西口より徒歩8分
- 東京メトロ南北線 / 埼玉高速鉄道線
「赤羽岩淵」駅下車、2番出口より徒歩12分

川越キャンパス

- 東武東上線
「鶴ヶ島」駅下車、東口より徒歩10分

朝霞キャンパス

- 東武東上線
「朝霞台」駅下車、北口より徒歩10分
- JR 武蔵野線
「北朝霞」駅下車、東口より徒歩10分



東洋大学